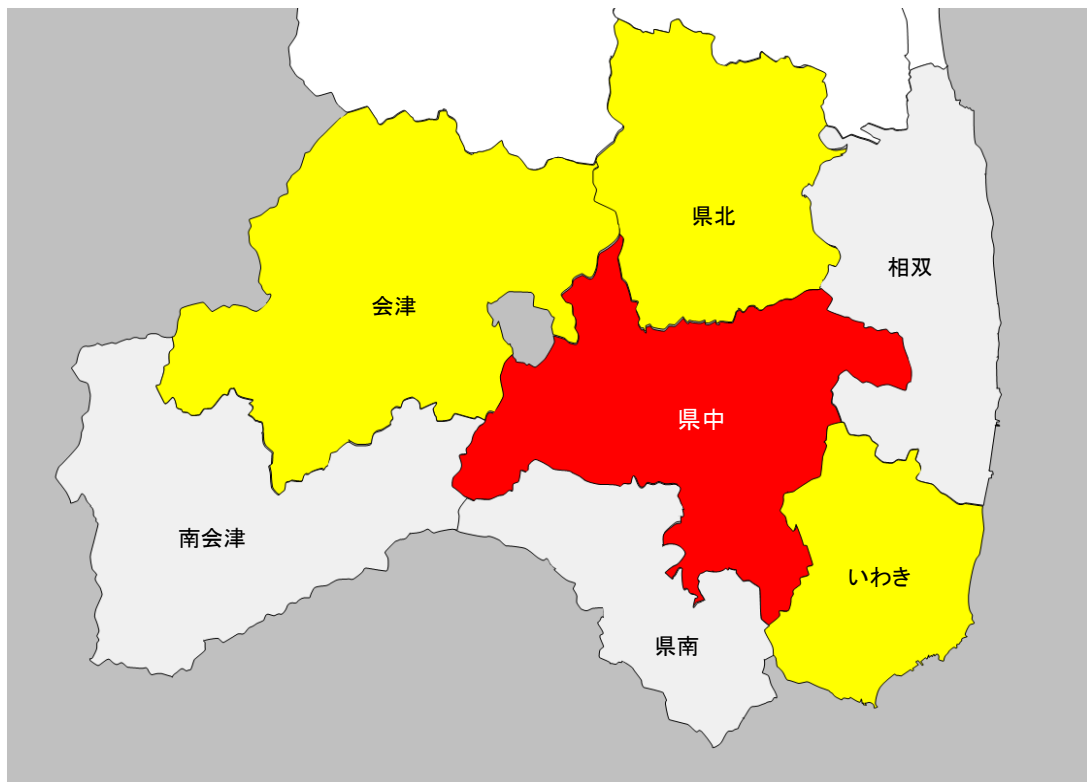


# 7. 福島県

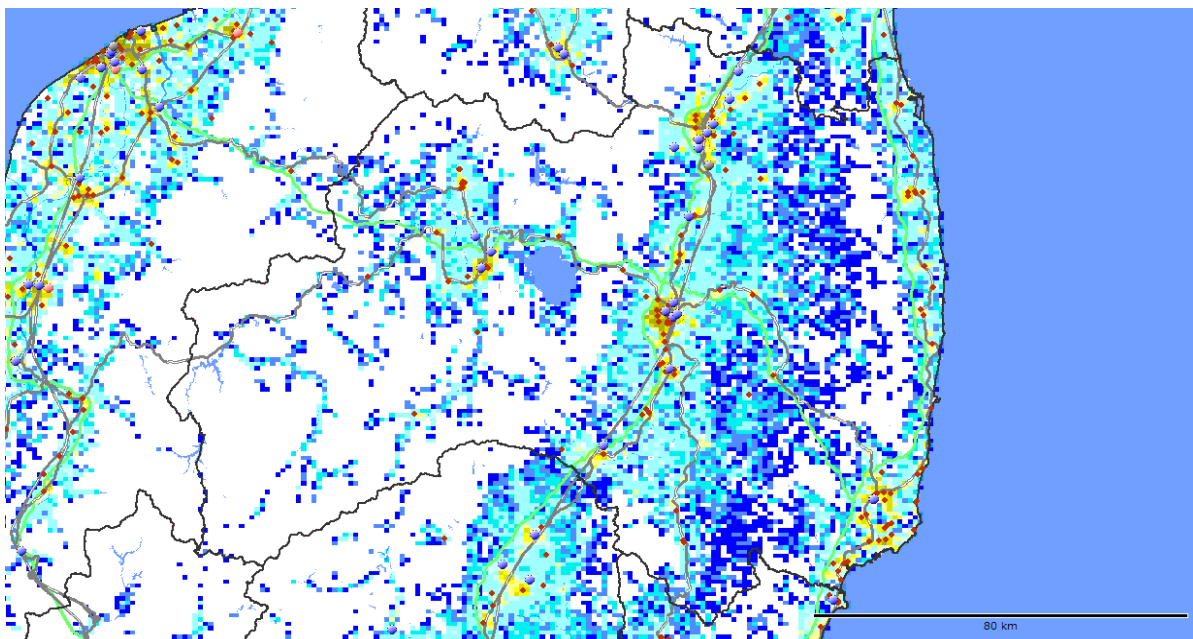


目次

福島県	7 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	7 - 8
1. 県北医療圏	7 - 20
2. 県中医療圏	7 - 25
3. 県南医療圏	7 - 30
4. 会津医療圏	7 - 35
5. 南会津医療圏	7 - 40
6. 相双医療圏	7 - 45
7. いわき医療圏	7 - 50

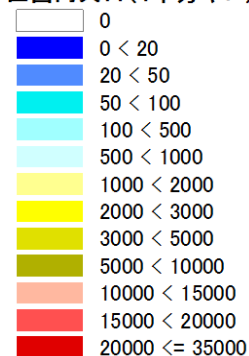
# 7. 福島県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



## (福島県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 福島県は、総人口約1,914千人(2015年)、面積13,784km<sup>2</sup>、人口密度は139人/km<sup>2</sup>である。

\*医療費と介護給付費： 福島県の一人当たり医療費(国保)は339千円(偏差値48)、介護給付費は265千円(偏差値54)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 福島県の一人当たり急性期医療密度指数は1.19、一人当たり慢性期医療密度指数は0.84で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数45、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 福島県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、26,894人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が18,200床(偏差値52)、高齢者住宅等が8,694床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、22,692人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム44、軽費ホーム47、グループホーム48、サ高住44である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、3,324人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

福島県の総人口は、2005年2,091,319人が、2015年に1,914,039人と8%減少し、2025年の人口が人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

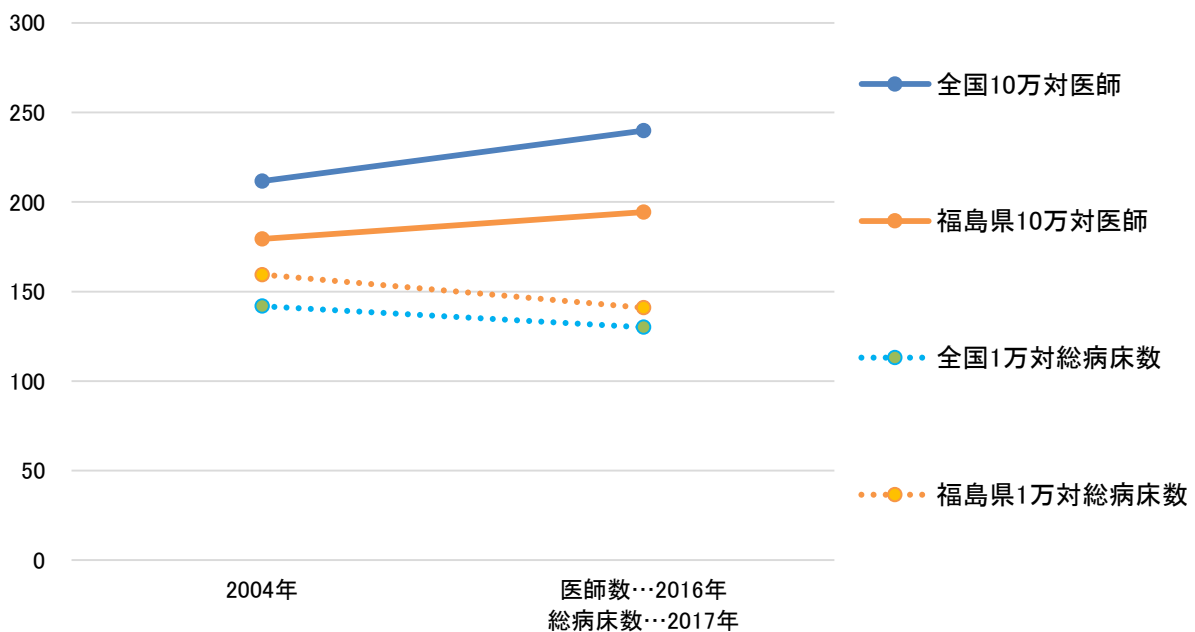
2004年の病院数が149(人口10万人当たり7.1病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2017年に128(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、13年間で21病院が減少した。

2004年の診療所数が1,438(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2017年に1,355(人口10万人当たり71診療所(全国平均80)偏差値45)と、83診療所が減少した。

2004年の総病床数が33,350床(人口1万人当たり159(全国平均142)偏差値53)であったが、2017年に26,976床(人口1万人当たり141(全国平均130)偏差値52)と、6,374床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,750人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2016年に3,720人(人口10万人当たり194人(全国平均240人)偏差値45)と、30人の減少、率にして1%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

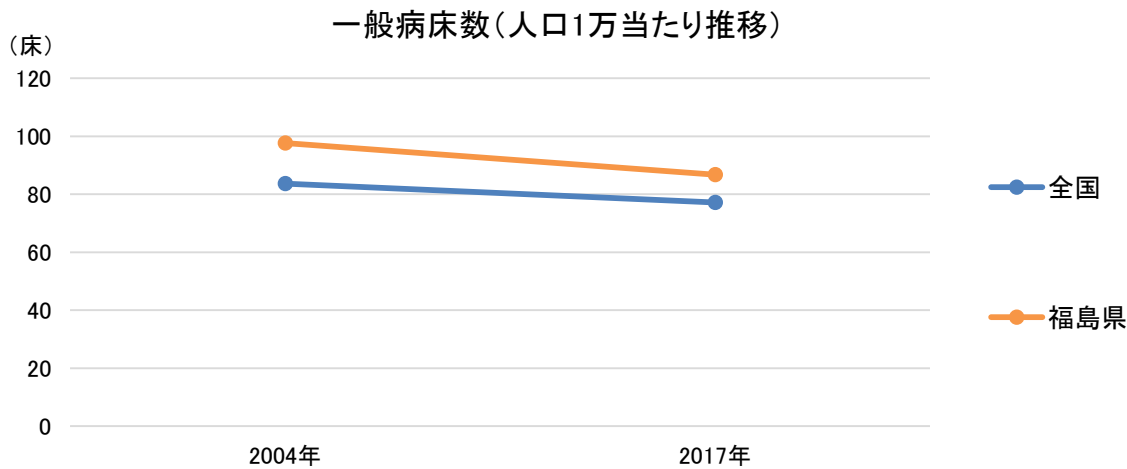
人口当たり医師数・総病床数の推移



## 7.福島県(2018年版)

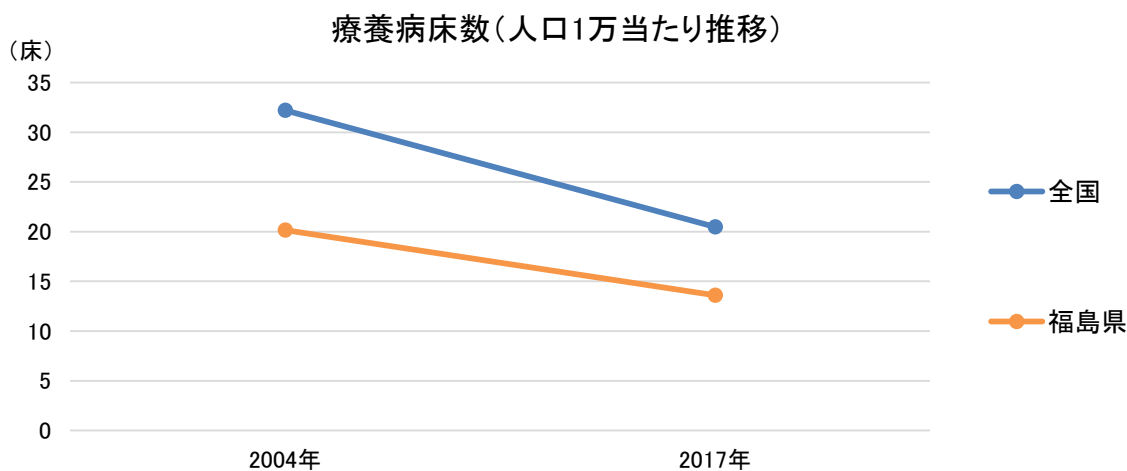
### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が20,424床(人口1万人当たり98(全国平均84)偏差値55)であったが、2017年に16,603床(人口1万人当たり87(全国平均77)偏差値54)と、3,821床の減少、率にして19%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



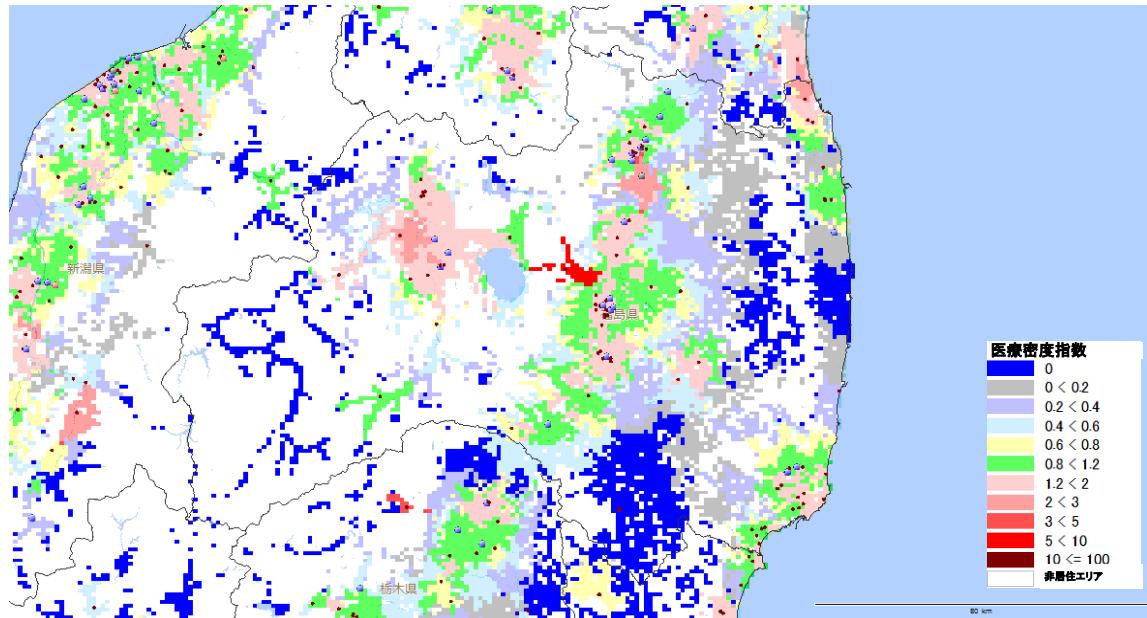
### 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4,695床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に3,908床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均20)偏差値44)と、787床の減少、率にして17%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



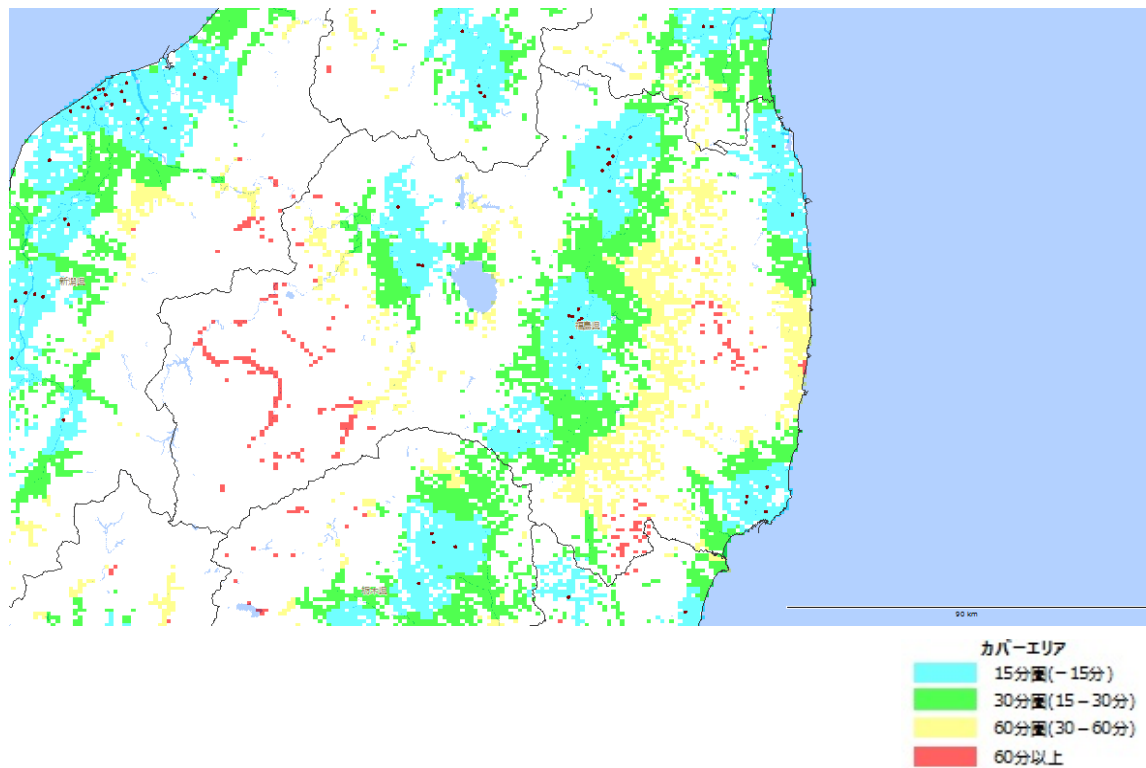
## (福島県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表7-1 急性期医療密度指数マップ



図表7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400)」)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 7-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
福島県	1,914	21位	13,784	3位	138.9		29%			287						
県北	491	26%	1,753	13%	279.8	地方都市型	29%			74						
県中	539	28%	2,406	17%	224.2	地方都市型	26%			72						
県南	144	8%	1,233	9%	116.8	過疎地域型	27%			21						
会津	251	13%	3,079	22%	81.4	地方都市型	32%			46						
南会津	27	1%	2,342	17%	11.6	過疎地域型	39%			7						
相双	112	6%	1,739	13%	64.4	過疎地域型	31%			18						
いわき	350	18%	1,232	9%	284.3	地方都市型	28%			50						
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

(注) 福島県の将来人口推計は現在取得できないため、その項目についてはブランクとしている。  
 なお、全国値は福島県全体に対する推計値を含んでいる。

資\_図表 7-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
福島県	1.19	0.84	24,289	27,148	-11.8%
県北	1.18	0.31	6,372	6,894	-8.2%
県中	1.33	0.81	5,836	6,753	-15.7%
県南	0.85	0.46	1,944	1,905	2.0%
会津	1.68	1.33	3,948	3,786	4.1%
南会津	0.33	0.53	582	537	7.8%
相双	0.70	0.89	1,306	2,663	-103.9%
いわき	1.09	1.48	4,301	4,611	-7.2%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) ) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				



資\_図表 7-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
福島県	339	48	0.960	130	49	0.951	187	49	0.978	265	54
県北	332	47	0.912	127	48	0.904	182	47	0.922	267	54
県中	324	45	0.933	126	48	0.940	177	44	0.942	244	48
県南	321	44	0.914	123	47	0.908	176	43	0.923	247	49
会津	341	49	0.948	140	52	1.004	180	45	0.923	278	57
南会津	355	52	0.936	140	52	0.952	193	53	0.940	272	56
相双	376	57	1.108	131	49	0.997	219	68	1.193	289	61
いわき	355	52	0.998	135	51	0.986	199	56	1.026	273	56

出典

＜一人あたり医療費＞平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省  
 ＜一人あたり介護給付費＞平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで)  
 ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福島県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。

資\_図表 7-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
福島県	823	42	0.875	390	43	0.824	409	45	0.941
県北	788	39	0.834	361	40	0.758	402	44	0.921
県中	829	42	0.882	393	43	0.832	412	46	0.947
県南	747	36	0.786	351	39	0.733	372	36	0.850
会津	833	43	0.886	443	48	0.928	366	34	0.854
南会津	655	28	0.702	301	34	0.630	335	27	0.796
相双	824	42	0.881	381	42	0.804	417	47	0.974
いわき	911	49	0.960	413	45	0.872	474	62	1.074

出典

＜一人あたり医療費＞平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省

資\_図表 7-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
福島県	128	1.5%	6.7	50	1,355	1.3%	71	45
県北	31	24%	6.3	49	378	28%	77	49
県中	33	26%	6.1	49	364	27%	67	43
県南	8	6%	5.6	48	90	7%	62	41
会津	18	14%	7.2	51	164	12%	65	42
南会津	1	1%	3.7	44	22	2%	81	51
相双	10	8%	8.9	55	83	6%	74	47
いわき	27	21%	7.7	52	254	19%	73	46

出典

平成29年医療施設(静態・動態)調査  
厚生労働省 平成29年10月

平成29年医療施設(静態・動態)調査  
厚生労働省 平成29年10月

7.福島県(2018年版)

資\_図表 7-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
福島県	1,355	1.3%	71	45	1,250	1.3%	65	45	105	1.5%	5.5	50
県北	378	28%	77	49	353	28%	72	49	25	24%	5.1	49
県中	364	27%	67	43	331	26%	61	43	33	31%	6.1	51
県南	90	7%	62	41	85	7%	59	42	5	5%	3.5	46
会津	164	12%	65	42	154	12%	61	43	10	10%	4.0	47
南会津	22	2%	81	51	21	2%	77	52	1	1%	3.7	47
相双	83	6%	74	47	74	6%	66	46	9	9%	8.0	54
いわき	254	19%	73	46	232	19%	66	46	22	21%	6.3	51
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 7-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(48.1)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(53.7)
福島県	25,547	1.6%	1,335	52	1,429	1.5%	75	50	26,976	1.6%	1,409	52
県北	6,024	24%	1,228	50	332	23%	68	49	6,356	24%	1,295	50
県中	7,381	29%	1,368	53	468	33%	87	51	7,849	29%	1,455	53
県南	1,521	6%	1,056	47	67	5%	47	47	1,588	6%	1,102	46
会津	4,078	16%	1,627	58	127	9%	51	47	4,205	16%	1,678	57
南会津	98	0%	361	32	19	1%	70	49	117	0%	431	34
相双	1,586	6%	1,417	54	96	7%	86	51	1,682	6%	1,503	54
いわき	4,859	19%	1,387	53	320	22%	91	51	5,179	19%	1,479	53
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 7-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
福島県	15,247	1.7%	797	54	3,835	1.2%	200	47	6,335	1.9%	331	53
県北	4,081	27%	832	56	359	9%	73	41	1,550	24%	316	53
県中	4,540	30%	842	56	1,054	27%	195	47	1,781	28%	330	53
県南	907	6%	630	47	125	3%	87	42	473	7%	328	53
会津	2,323	15%	927	60	708	18%	283	51	1,025	16%	409	57
南会津	98	1%	361	35	0	0%	0	37	0	0%	0	38
相双	938	6%	838	56	341	9%	305	52	307	5%	274	51
いわき	2,360	15%	674	49	1,248	33%	356	55	1,199	19%	342	54
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 7-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟病床数				地域包括ケア病棟病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
福島県	949	1.2%	50	47	902	1.2%	47	48
県北	374	39%	76	53	214	24%	44	48
県中	259	27%	48	47	189	21%	35	46
県南	42	4%	29	43	129	14%	90	55
会津	108	11%	43	46	131	15%	52	49
南会津	0	0%	0	36	0	0%	0	41
相双	0	0%	0	36	50	6%	45	48
いわき	166	17%	47	47	189	21%	54	49
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資\_図表 7-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
福島県	6,642	5,693	320	18,446	9,385	3,226	37.8%	47	9.0%	52
県北	1,903	1,781	0	4,055	2,232	359	44.4%	50	0.0%	48
県中	997	812	179	6,269	3,657	831	18.2%	40	17.7%	56
県南	991	655	0	527	252	125	72.2%	60	0.0%	48
会津	699	536	50	3,177	1,729	514	23.7%	42	8.9%	52
南会津	98	98	0	0	0	0	100.0%	71		
相双	607	516	91	977	420	250	55.1%	54	26.7%	60
いわき	1,347	1,295	0	3,441	1,095	1,147	54.2%	54	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 7-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
福島県	28,200	0.7%	1,473	44	14,568	1.6%	761	51
県北	6,900	24%	1,406	43	3,624	25%	739	50
県中	9,504	34%	1,762	45	4,872	33%	903	57
県南	972	3%	675	40	984	7%	683	48
会津	3,912	14%	1,561	44	1,692	12%	675	48
南会津	144	1%	530	40	0	0%	0	22
相双	984	3%	879	41	444	3%	397	37
いわき	5,784	21%	1,651	44	2,952	20%	843	54
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資\_図表 7-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
福島県	3,720	1.2%	194	45	2,392	1.2%	125	45	1,328	1.3%	69	45
県北	1,295	35%	264	53	896	37%	183	53	399	30%	81	50
県中	1,020	27%	189	44	643	27%	119	44	377	28%	70	45
県南	199	5%	138	39	115	5%	80	39	84	6%	58	40
会津	454	12%	181	43	324	14%	129	46	130	10%	52	38
南会津	31	1%	114	36	13	1%	48	35	18	1%	66	44
相双	160	4%	143	39	97	4%	87	40	63	5%	56	40
いわき	561	15%	160	41	304	13%	87	40	257	19%	73	47
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 7-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
福島県	230	1.0%	12.0	44	167	1.2%	8.7	46	133	1.2%	6.9	45
県北	101	44%	20.6	53	67	40%	13.7	56	53	40%	10.8	55
県中	54	23%	10.0	42	51	31%	9.5	47	34	26%	6.3	44
県南	10	4%	6.9	38	8	5%	5.6	39	5	4%	3.5	37
会津	26	11%	10.4	42	12	7%	4.8	38	13	10%	5.2	41
南会津	3	1%	11.1	43	3	2%	11.1	51	0	0%	0	28
相双	7	3%	6.3	37	6	4%	5.4	39	3	2%	2.7	35
いわき	29	13%	8.3	40	20	12%	5.7	40	25	19%	7.1	46
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 7-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
福島県	43	0.8%	2.2	40	124	1.3%	6.5	46	103	1.3%	5.4	47
県北	18	42%	3.7	47	42	34%	8.6	53	39	38%	7.9	57
県中	11	26%	2.0	39	37	30%	6.9	47	29	28%	5.4	47
県南	3	7%	2.1	39	7	6%	4.9	41	7	7%	4.9	45
会津	4	9%	1.6	37	14	11%	5.6	43	11	11%	4.4	44
南会津	0	0%	0	30	0	0%	0	26	2	2%	7.4	55
相双	3	7%	2.7	42	3	2%	2.7	35	2	2%	1.8	34
いわき	4	9%	1.1	35	21	17%	6.0	45	13	13%	3.7	41
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 7-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
福島県	136	1.5%	7.1	50	273	1.3%	14.3	47	206	1.3%	10.8	45
県北	44	32%	9.0	55	99	36%	20.2	55	67	33%	13.7	52
県中	43	32%	8.0	52	75	27%	13.9	46	51	25%	9.5	42
県南	11	8%	7.6	51	14	5%	9.7	40	10	5%	6.9	37
会津	8	6%	3.2	38	32	12%	12.8	45	27	13%	10.8	45
南会津	0	0%	0	29	1	0%	3.7	32	2	1%	7.4	38
相双	5	4%	4.5	42	15	5%	13.4	45	7	3%	6.3	36
いわき	25	18%	7.1	50	37	14%	10.6	41	42	20%	12.0	48
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 7-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
福島県	89	1.5%	4.6	50	92	1.4%	4.8	48	68	1.2%	3.6	47
県北	28	31%	5.7	55	31	34%	6.3	54	22	32%	4.5	50
県中	26	29%	4.8	50	26	28%	4.8	48	24	35%	4.4	50
県南	5	6%	3.5	44	5	5%	3.5	42	5	7%	3.5	47
会津	12	13%	4.8	50	11	12%	4.4	46	9	13%	3.6	47
南会津	0	0%	0	28	0	0%	0	27	0	0%	0	35
相双	3	3%	2.7	40	4	4%	3.6	43	1	1%	0.9	38
いわき	15	17%	4.3	48	15	16%	4.3	46	7	10%	2.0	42
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 7-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
福島県	75	1.1%	3.9	45	16	1.0%	0.8	46	45	1.2%	2.4	47
県北	34	45%	6.9	54	3	19%	0.6	43	17	38%	3.5	52
県中	24	32%	4.4	47	7	44%	1.3	50	10	22%	1.9	44
県南	1	1%	0.7	35	1	6%	0.7	44	2	4%	1.4	42
会津	6	8%	2.4	40	3	19%	1.2	49	5	11%	2.0	45
南会津	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	34
相双	3	4%	2.7	41	0	0%	0	37	3	7%	2.7	48
いわき	7	9%	2.0	39	2	13%	0.6	43	8	18%	2.3	46
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

7.福島県(2018年版)

資\_図表 7-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
福島県	21	1.0%	1.1	45	24	1.0%	1.3	45
県北	10	48%	2.0	53	11	46%	2.2	52
県中	4	19%	0.7	42	3	13%	0.6	40
県南	0	0%	0	37	0	0%	0	36
会津	3	14%	1.2	46	1	4%	0.4	39
南会津	0	0%	0	37	1	4%	3.7	62
相双	0	0%	0	37	1	4%	0.9	42
いわき	4	19%	1.1	46	7	29%	2.0	50
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 7-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
福島県	17,515	1.5%	915	50	13,648	1.5%	713	50	3,867	1.7%	202	53
県北	4,320	25%	881	49	3,261	24%	665	48	1,059	27%	216	55
県中	4,962	28%	920	51	3,975	29%	737	51	987	26%	183	51
県南	1,112	6%	772	46	892	7%	619	46	220	6%	153	47
会津	2,806	16%	1,120	58	2,293	17%	915	58	513	13%	205	54
南会津	144	1%	530	37	89	1%	328	34	55	1%	202	53
相双	817	5%	730	44	636	5%	568	44	181	5%	162	48
いわき	3,354	19%	958	52	2,502	18%	714	50	852	22%	243	59
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 7-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
福島県	1,813	1.3%	95	47	3,582	1.2%	187	45
県北	479	26%	98	48	961	27%	196	46
県中	635	35%	118	51	1,075	30%	199	46
県南	80	4%	55	40	210	6%	146	41
会津	304	17%	121	52	421	12%	168	43
南会津	3	0%	11	33	24	1%	88	35
相双	49	3%	44	38	172	5%	154	41
いわき	264	15%	75	44	719	20%	205	47
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 7-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
福島県	162	1.1%	0.6	43	9	0.6%	0.0	42	146	1.3%	0.5	42
県北	60	37%	0.8	49	4	44%	0.1	46	38	26%	0.5	43
県中	54	33%	0.7	47	3	33%	0.0	44	51	35%	0.7	51
県南	8	5%	0.4	39	0	0%	0	38	9	6%	0.4	39
会津	13	8%	0.3	37	0	0%	0	38	15	10%	0.3	34
南会津	2	1%	0.3	37	0	0%	0	38	3	2%	0.5	40
相双	3	2%	0.2	34	0	0%	0	38	11	8%	0.6	48
いわき	22	14%	0.4	40	2	22%	0.0	44	19	13%	0.4	36
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資\_図表 7-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
福島県	26,894	1.6%	94	44	18,200	1.8%	63	52	8,694	1.3%	30	42
県北	7,499	28%	102	49	4,813	26%	65	53	2,686	31%	36	46
県中	6,621	25%	92	43	4,240	23%	59	48	2,381	27%	33	44
県南	2,100	8%	101	48	1,652	9%	79	64	448	5%	21	37
会津	4,129	15%	90	42	3,106	17%	68	55	1,023	12%	22	37
南会津	582	2%	89	41	510	3%	78	64	72	1%	11	30
相双	1,326	5%	75	33	1,150	6%	65	53	176	2%	10	29
いわき	4,637	17%	92	43	2,729	15%	54	44	1,908	22%	38	47
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 7-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
福島県	7,176	2.0%	25	54	10,513	1.8%	37	51	511	0.9%	1.8	45
県北	1,989	28%	27	58	2,774	26%	38	52	50	10%	0.7	43
県中	1,535	21%	21	48	2,517	24%	35	50	188	37%	2.6	47
県南	716	10%	34	70	936	9%	45	60	0	0%	0	41
会津	1,309	18%	29	61	1,689	16%	37	52	108	21%	2.4	47
南会津	130	2%	20	46	380	4%	58	73	0	0%	0	41
相双	358	5%	20	46	782	7%	44	59	10	2%	0.6	42
いわき	1,139	16%	23	50	1,435	14%	28	43	155	30%	3.1	49
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 7-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
福島県	2,291	1.0%	8.0	44	210	0.9%	0.7	47	3,231	1.6%	11.2	48
県北	617	27%	8.4	44	100	48%	1.4	50	792	25%	10.7	47
県中	406	18%	5.6	42	0	0%	0	43	1,016	31%	14.0	53
県南	37	2%	1.8	38	30	14%	1.4	50	225	7%	10.8	47
会津	396	17%	8.7	45	0	0%	0	43	403	12%	8.8	44
南会津	18	1%	2.8	39	0	0%	0	43	54	2%	8.3	43
相双	0	0%	0	37	0	0%	0	43	156	5%	8.8	44
いわき	817	36%	16.2	52	80	38%	1.6	51	585	18%	11.6	49
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 7-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)	
福島県	2,962	1.3%	10.3	44	357	1.6%	1.2	49	2,605	1.2%	9.1	44	
県北	1,177	40%	15.9	52	50	14%	0.7	46	1,127	43%	15.3	54	
県中	959	32%	13.3	49	174	49%	2.4	56	785	30%	10.8	47	
県南	156	5%	7.5	40	0	0%	0	43	156	6%	7.5	42	
会津	224	8%	4.9	37	43	12%	0.9	48	181	7%	4.0	37	
南会津	0	0%	0	30	0	0%	0	43	0	0%	0	31	
相双	20	1%	1.1	31	0	0%	0	43	20	1%	1.1	33	
いわき	426	14%	8.5	42	90	25%	1.8	52	336	13%	6.7	41	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資\_図表 7-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			看護師数 (施設)	訪問看護			看護師数 (訪問)	訪問看護		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
福島県	2,677	1.6%	9.3	45	2,039	1.7%	7.1	49	638	1.2%	2.2	41
県北	661	25%	8.9	43	479	23%	6.5	46	182	28%	2.5	43
県中	769	29%	10.6	50	531	26%	7.3	50	238	37%	3.3	51
県南	186	7%	8.9	43	155	8%	7.4	50	31	5%	1.5	34
会津	437	16%	9.6	46	380	19%	8.3	55	58	9%	1.3	32
南会津	49	2%	7.5	37	43	2%	6.6	46	6	1%	0.9	29
相双	152	6%	8.6	42	111	5%	6.3	44	41	6%	2.3	42
いわき	424	16%	8.4	41	342	17%	6.8	47	83	13%	1.6	36
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 7-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
福島県	26,016	1.7%	91	49	22,692	1.8%	79	50	3,324	1.5%	11.6	46
県北	6,738	26%	91	49	5,806	26%	79	50	932	28%	12.6	48
県中	6,656	26%	92	50	5,966	26%	82	53	690	21%	9.5	43
県南	2,001	8%	96	53	1,801	8%	86	57	199	6%	9.5	43
会津	4,092	16%	90	48	3,678	16%	81	52	414	12%	9.1	42
南会津	497	2%	76	37	454	2%	70	42	43	1%	6.5	37
相双	1,375	5%	78	38	1,212	5%	69	41	164	5%	9.3	42
いわき	4,658	18%	92	50	3,775	17%	75	46	883	27%	17.5	57
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 7-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
福島県	12,481	1.0%	43	41	7,494	1.5%	26	46	17,856	1.5%	62	45
県北	4,969	40%	67	48	2,528	34%	34	52	5,269	30%	71	49
県中	3,763	30%	52	43	2,543	34%	35	53	3,922	22%	54	42
県南	378	3%	18	34	276	4%	13	36	899	5%	43	38
会津	729	6%	16	33	736	10%	16	38	2,255	13%	49	40
南会津	142	1%	22	35	71	1%	11	34	175	1%	27	32
相双	179	1%	10	32	528	7%	30	49	1,022	6%	58	44
いわき	2,321	19%	46	42	812	11%	16	38	4,314	24%	86	54
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 7-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
福島県		2,091,319	1,914,039	-8%			2%		
県北	地方都市型	510,792	490,647	-4%			8%		
県中	地方都市型	560,826	539,376	-4%			9%		
県南	過疎地域型	153,347	144,080	-6%			4%		
会津	地方都市型	278,018	250,605	-10%			-1%		
南会津	過疎地域型	32,913	27,149	-18%			-8%		
相双	過疎地域型	200,931	111,945	-44%			-38%		
いわき	地方都市型	354,492	350,237	-1%			10%		
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

(注) 福島県の将来人口推計は現在取得できないため、その項目についてはblankとしている。  
なお、全国値は福島県全体に対する推計値を含んでいる。

7.福島県(2018年版)

資\_図表 7-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
福島県	149	7.1	50	128	6.7	50	-21	-14%
県北	36	7.0	50	31	6.3	49	-5	-14%
県中	34	6.1	47	33	6.1	49	-1	-3%
県南	13	8.5	54	8	5.6	48	-5	-38%
会津	20	7.2	50	18	7.2	51	-2	-10%
南会津	1	3.0	39	1	3.7	44	0	0%
相双	16	8.0	52	10	8.9	55	-6	-38%
いわき	29	8.2	53	27	7.7	52	-2	-7%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 7-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
福島県	1,438	69	46	1,355	71	45	-83	-6%
県北	389	76	50	378	77	49	-11	-3%
県中	383	68	46	364	67	43	-19	-5%
県南	89	58	41	90	62	41	1	1%
会津	177	64	44	164	65	42	-13	-7%
南会津	19	58	41	22	81	51	3	16%
相双	115	57	41	83	74	47	-32	-28%
いわき	266	75	50	254	73	46	-12	-5%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 7-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
福島県	3,750	179	46	3,720	194	45	-30	-1%
県北	1,228	240	53	1,295	264	53	67	5%
県中	949	169	45	1,020	189	44	71	7%
県南	199	130	40	199	138	39	0	0%
会津	466	168	45	454	181	43	-12	-3%
南会津	36	109	38	31	114	36	-5	-14%
相双	240	119	39	160	143	39	-80	-33%
いわき	632	178	46	561	160	41	-71	-11%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 7-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
福島県	33,350	159	53	26,976	141	52	-6,374	-19%
県北	7,523	147	51	6,356	130	50	-1,167	-16%
県中	8,905	159	53	7,849	146	53	-1,056	-12%
県南	2,329	152	52	1,588	110	46	-741	-32%
会津	5,244	189	58	4,205	168	57	-1,039	-20%
南会津	168	51	34	117	43	34	-51	-30%
相双	3,092	154	52	1,682	150	54	-1,410	-46%
いわき	6,089	172	55	5,179	148	53	-910	-15%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 7-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
福島県	20,424	98	55	16,603	87	54	-3,821	-19%
県北	5,156	101	56	4,410	90	55	-746	-14%
県中	5,709	102	56	4,977	92	56	-732	-13%
県南	1,376	90	52	974	68	46	-402	-29%
会津	2,918	105	58	2,450	98	58	-468	-16%
南会津	168	51	38	108	40	36	-60	-36%
相双	1,733	86	51	1,034	92	56	-699	-40%
いわき	3,364	95	54	2,650	76	49	-714	-21%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 7-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

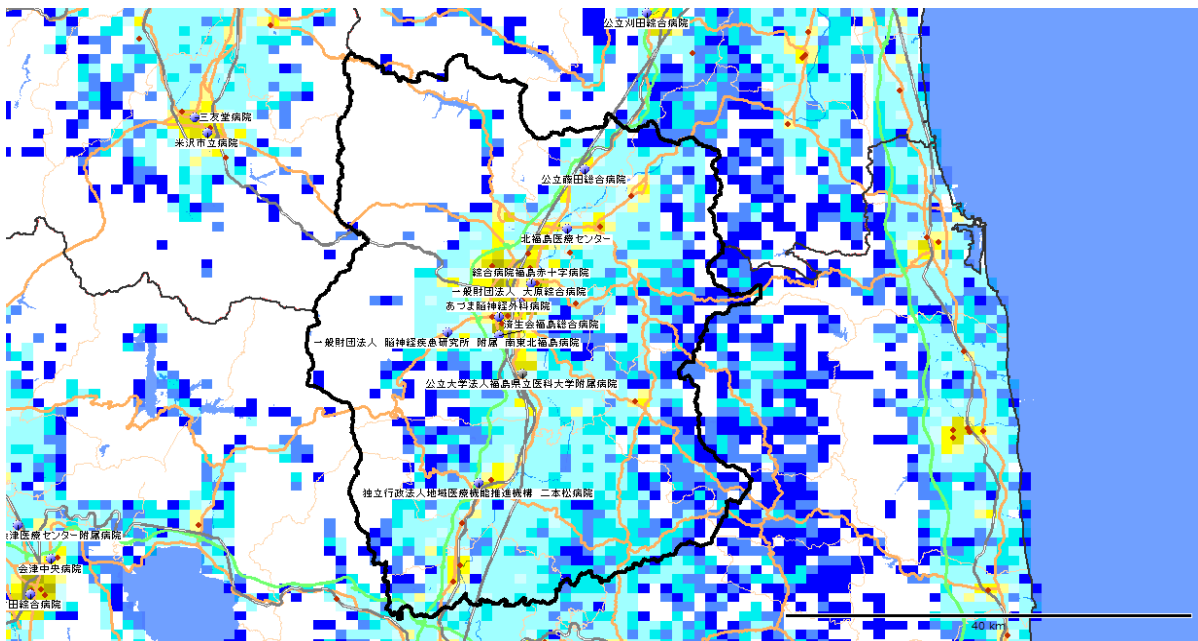
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
福島県	4,695	20	43	3,908	14	44	-787	-17%
県北	684	12	39	362	5	36	-322	-47%
県中	1,054	20	43	1,085	15	45	31	3%
県南	344	20	43	125	6	37	-219	-64%
会津	882	23	45	708	16	46	-174	-20%
南会津	0	0	32	9	1	33	9	100%
相双	444	18	42	341	19	49	-103	-23%
いわき	1,287	34	51	1,278	25	54	-9	-1%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

# 7-1. けんほく 県北医療圏

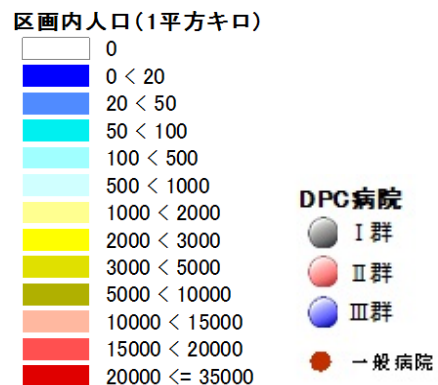
構成市区町村 [福島市](#) [二本松市](#) [伊達市](#) [本宮市](#)  
[桑折町](#) [国見町](#) [川俣町](#) [大玉村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (県北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県北(福島市)は、総人口約491千人(2015年)、面積1,753km<sup>2</sup>、人口密度は280人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*医療費と介護給付費： 県北の一人当たり医療費(国保)は332千円(偏差値47)、介護給付費は267千円(偏差値54)であり、医療費はやや低いが、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県北の一人当たり急性期医療密度指数は1.18、一人当たり慢性期医療密度指数は0.31で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が53(病院医師数53、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。県北には、年間全身麻酔件数が2000例以上の福島県立医科大学附属病院（Ⅰ群・救命）、1000例以上の福島赤十字病院（Ⅲ群）、大原総合病院（Ⅲ群）、500例以上の公立藤田総合病院（Ⅲ群）がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7,499人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4,813床(偏差値53)、高齢者住宅等が2,686床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,806人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム44、軽費ホーム50、グループホーム47、サ高住52である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、932人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (県北医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

県北医療圏の総人口は、2005年510,792人が、2015年に490,647人と4%減少し、2025年の人口が人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

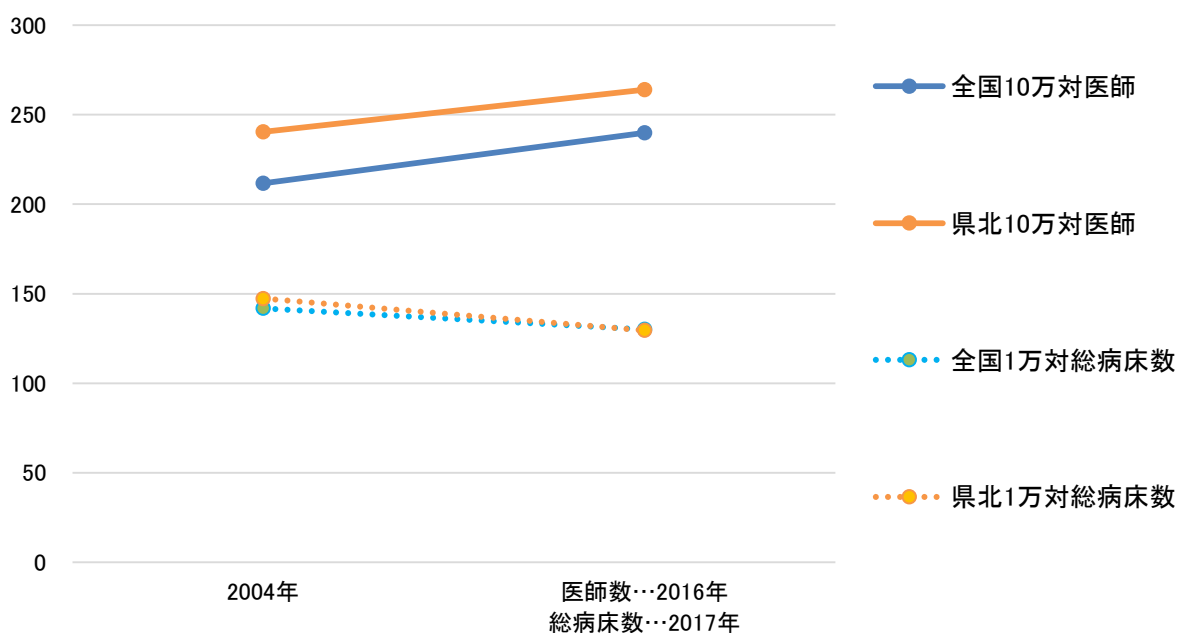
2004年の病院数が36(人口10万人当たり7病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2017年に31(人口10万人当たり6.3病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、13年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が389(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2017年に378(人口10万人当たり77診療所(全国平均80)偏差値49)と、11診療所が減少した。

2004年の総病床数が7,523床(人口1万人当たり147(全国平均142)偏差値51)であったが、2017年に6,356床(人口1万人当たり130(全国平均130)偏差値50)と、1,167床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

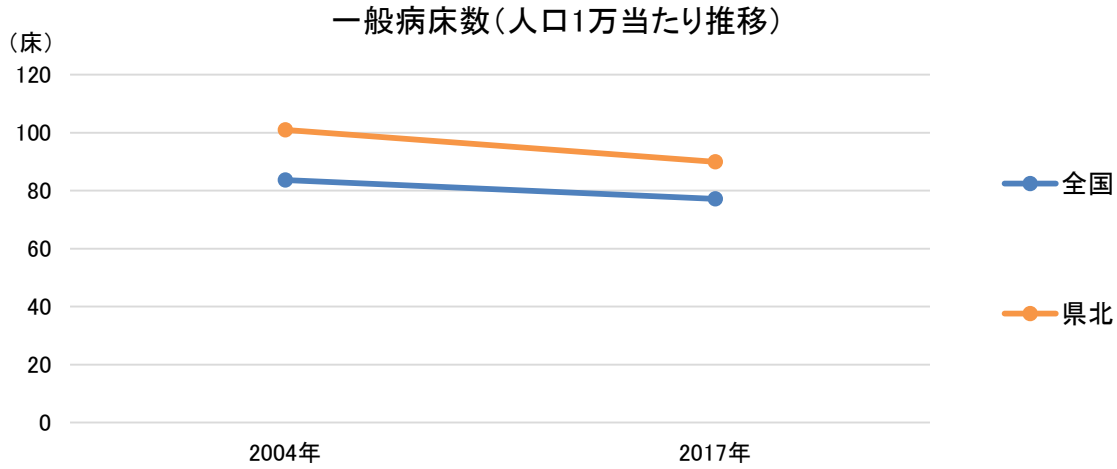
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,228人(人口10万人当たり240人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2016年に1,295人(人口10万人当たり264人(全国平均240人)偏差値53)と、67人の増加、率にして5%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



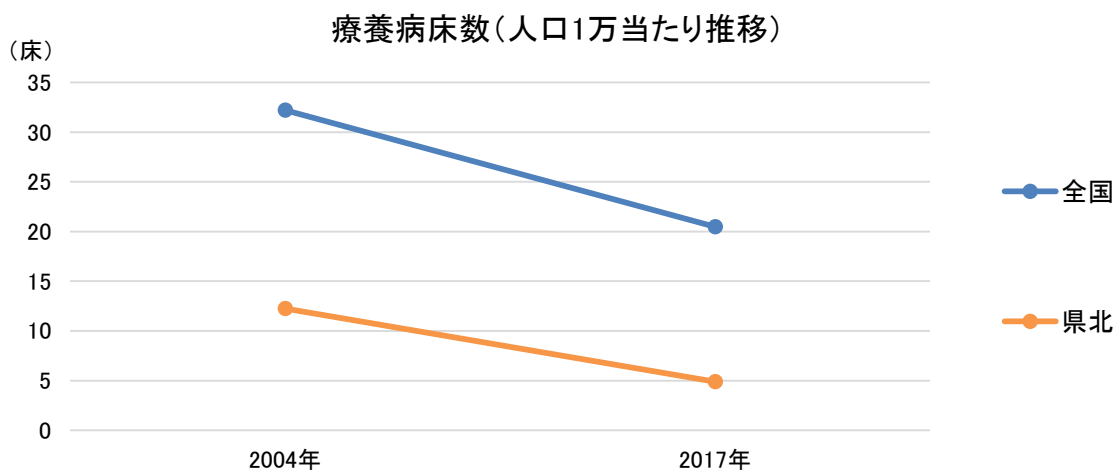
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,156床(人口1万人当たり101(全国平均84)偏差値56)であったが、2017年に4,410床(人口1万人当たり90(全国平均77)偏差値55)と、746床の減少、率にして14%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



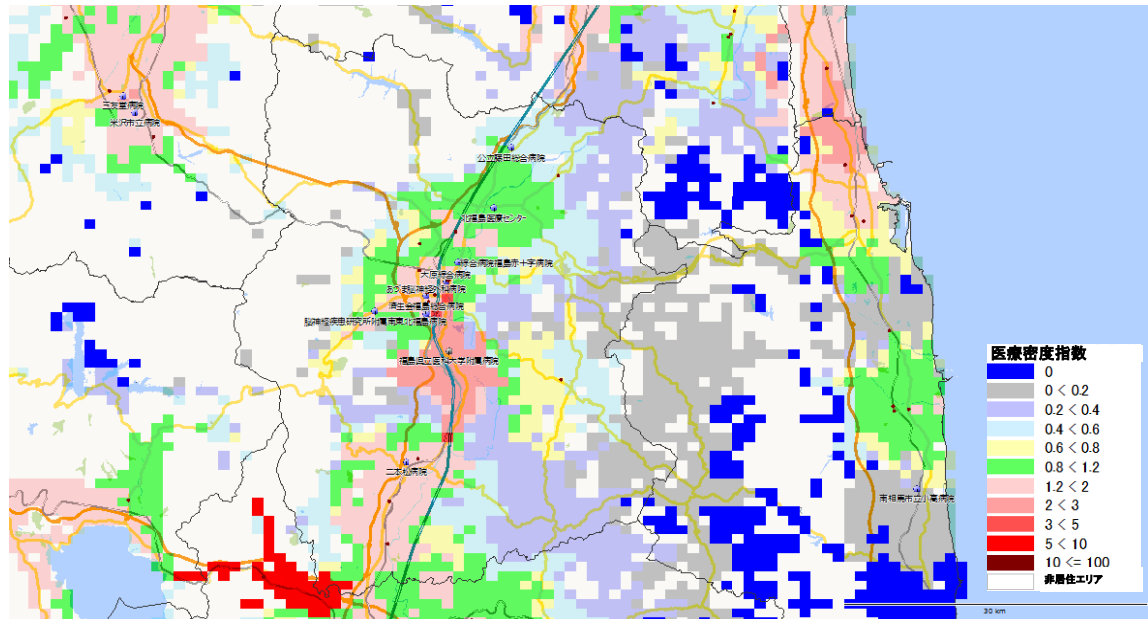
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が684床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均32)偏差値39)であったが、2017年に362床(75歳以上1,000人当たり5(全国平均20)偏差値36)と、322床の減少、率にして47%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



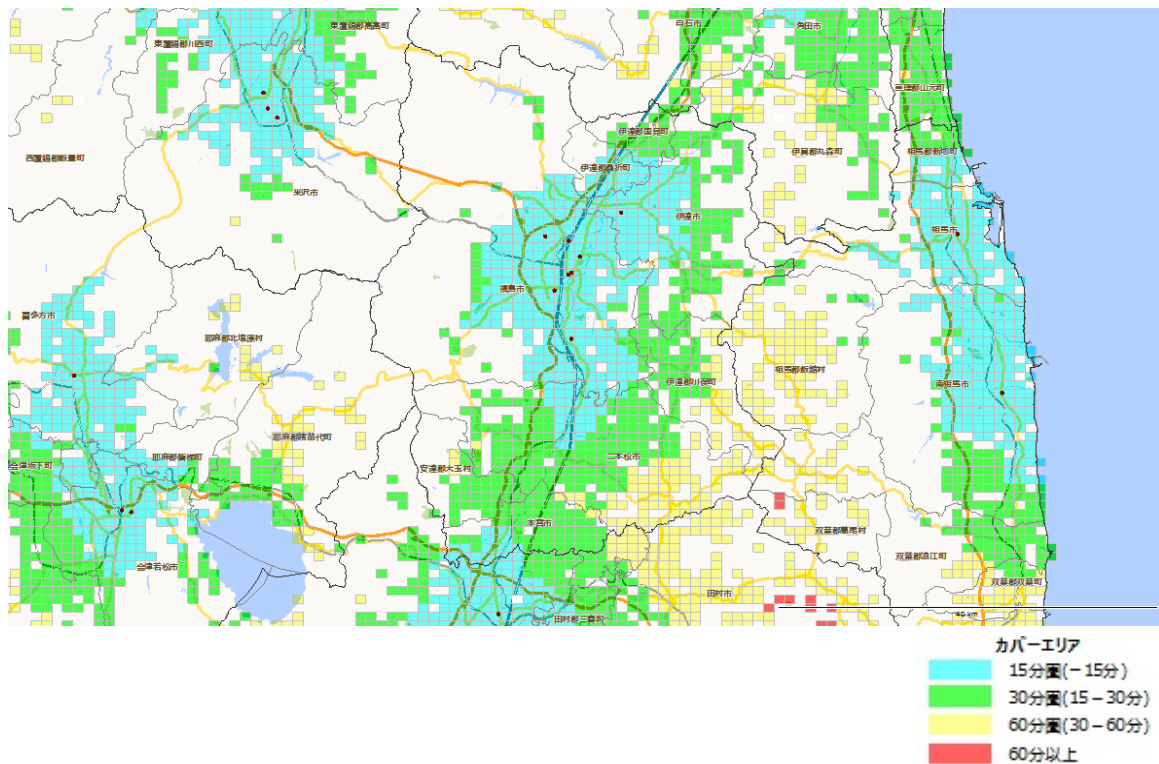
(県北医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表7-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表7-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照 (日医総研WP no. 400) 」)



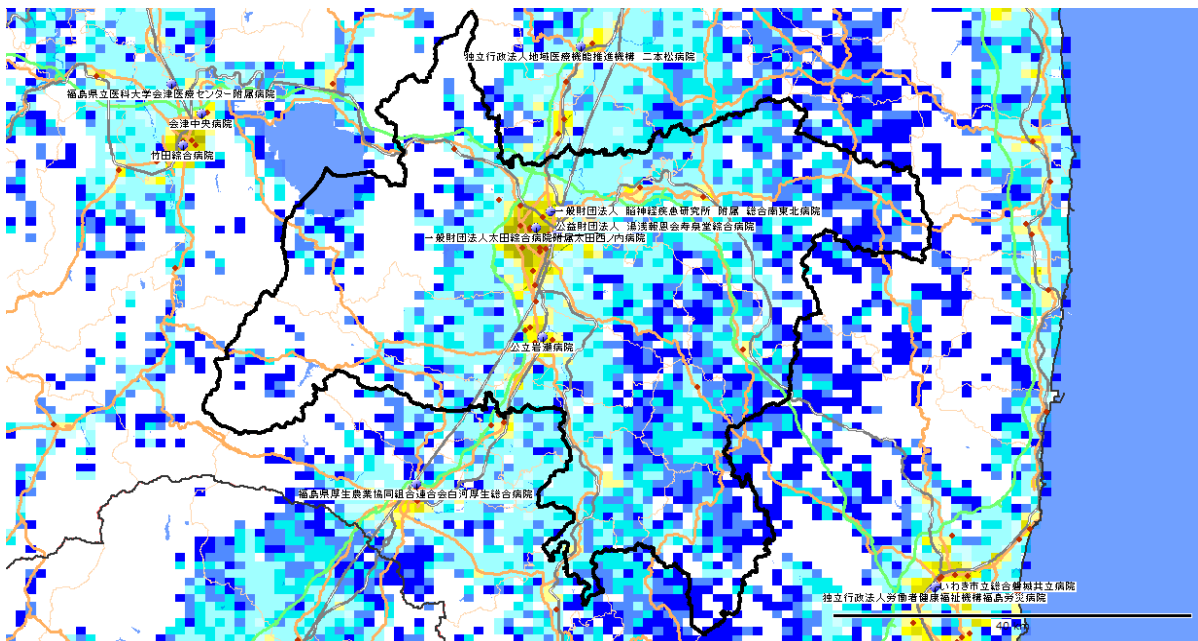


# 7-2. けんちゅう 県中医療圏

構成市区町村 [郡山市](#) [須賀川市](#) [田村市](#) [鏡石町](#)  
[天栄村](#) [石川町](#) [玉川村](#) [平田村](#)  
[浅川町](#) [古殿町](#) [三春町](#) [小野町](#)

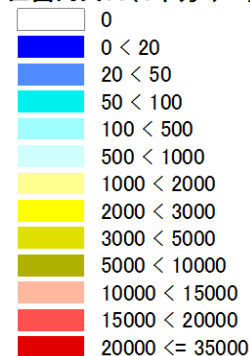
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

### 区画内人口(1平方キロ)



### DPC病院



## (県中医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県中(郡山市)は、総人口約539千人(2015年)、面積2,406km<sup>2</sup>、人口密度は224人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*医療費と介護給付費： 県中の一人当たり医療費(国保)は324千円(偏差値45)、介護給付費は244千円(偏差値48)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県中の一人当たり急性期医療密度指数は1.33、一人当たり慢性期医療密度指数は0.81で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数44、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。県中には、年間全身麻酔件数が2000例以上の星総合病院(Ⅲ群)、太田西ノ内病院(Ⅲ群・救命)、総合南東北病院(Ⅱ群)、1000例以上の寿泉堂総合病院(Ⅲ群)、500例以上の公立岩瀬病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県中の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,621人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,240床(偏差値48)、高齢者住宅等が2,381床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,966人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム42、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム53、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、690人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (県中医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

県中医療圏の総人口は、2005年560,826人が、2015年に539,376人と4%減少し、2025年の人口が人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

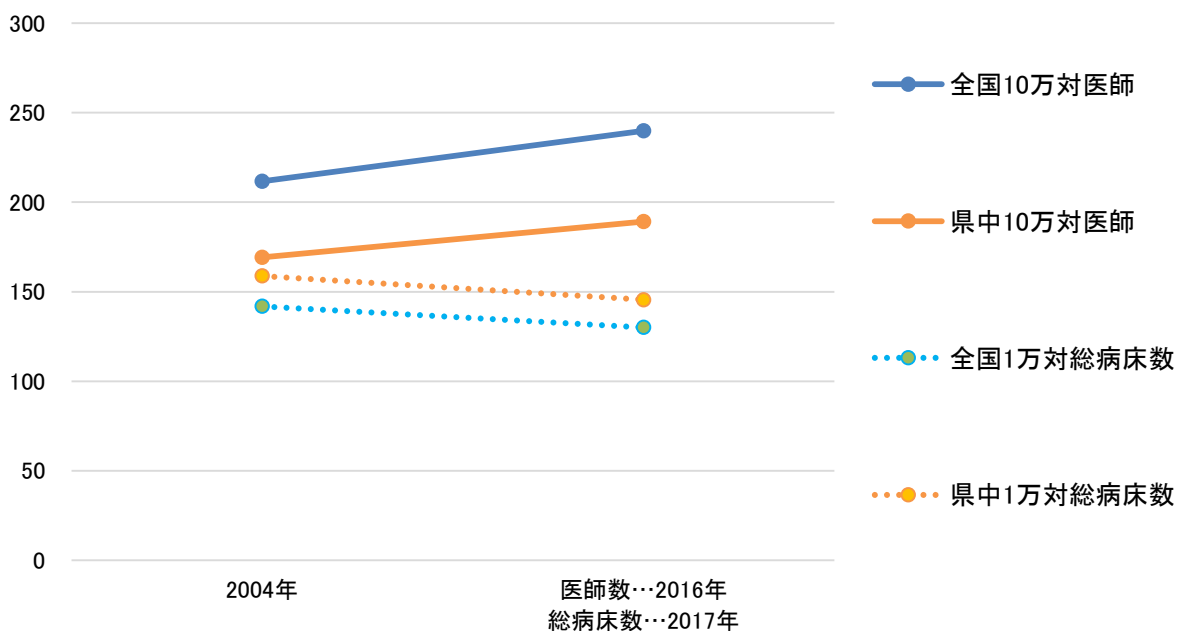
2004年の病院数が34(人口10万人当たり6.1病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2017年に33(人口10万人当たり6.1病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が383(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2017年に364(人口10万人当たり67診療所(全国平均80)偏差値43)と、19診療所が減少した。

2004年の総病床数が8,905床(人口1万人当たり159(全国平均142)偏差値53)であったが、2017年に7,849床(人口1万人当たり146(全国平均130)偏差値53)と、1,056床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

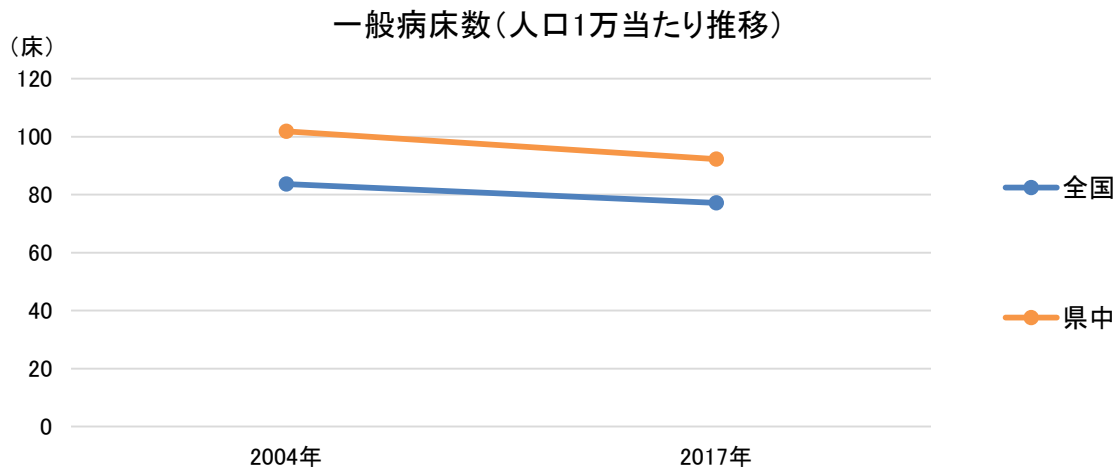
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が949人(人口10万人当たり169人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2016年に1,020人(人口10万人当たり189人(全国平均240人)偏差値44)と、71人の増加、率にして7%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



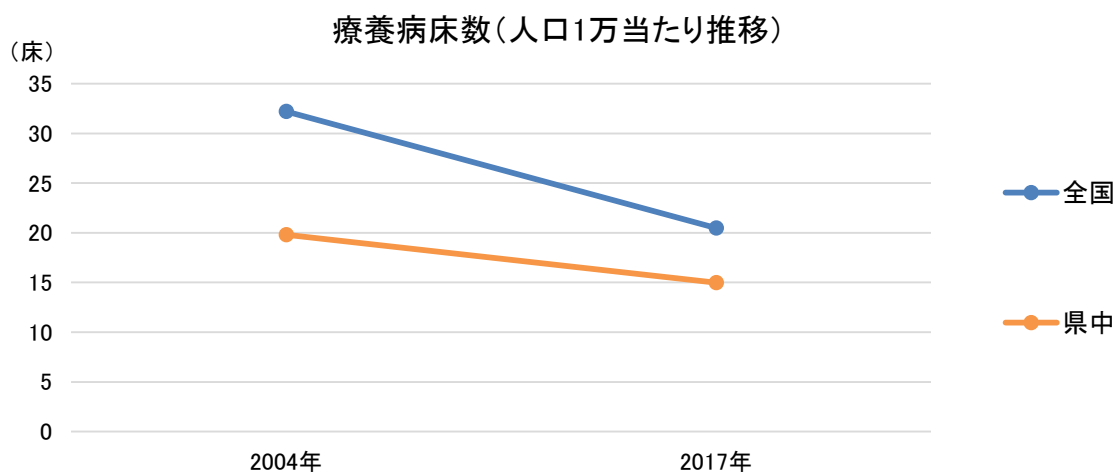
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,709床(人口1万人当たり102(全国平均84)偏差値56)であったが、2017年に4,977床(人口1万人当たり92(全国平均77)偏差値56)と、732床の減少、率にして13%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



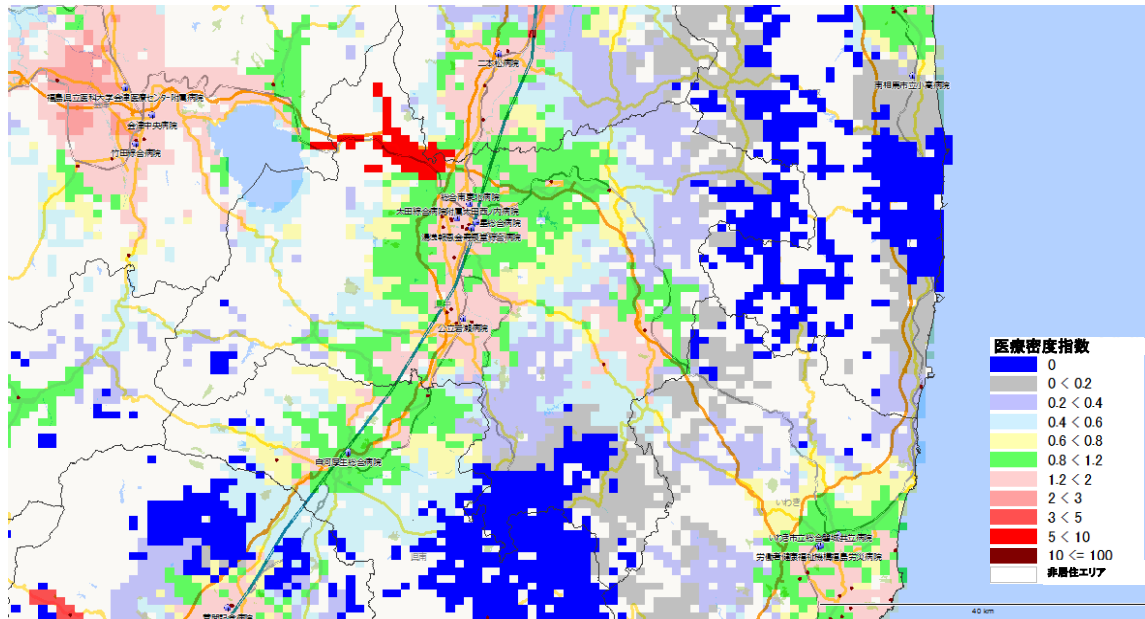
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,054床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に1,085床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値45)と、31床の増加、率にして3%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



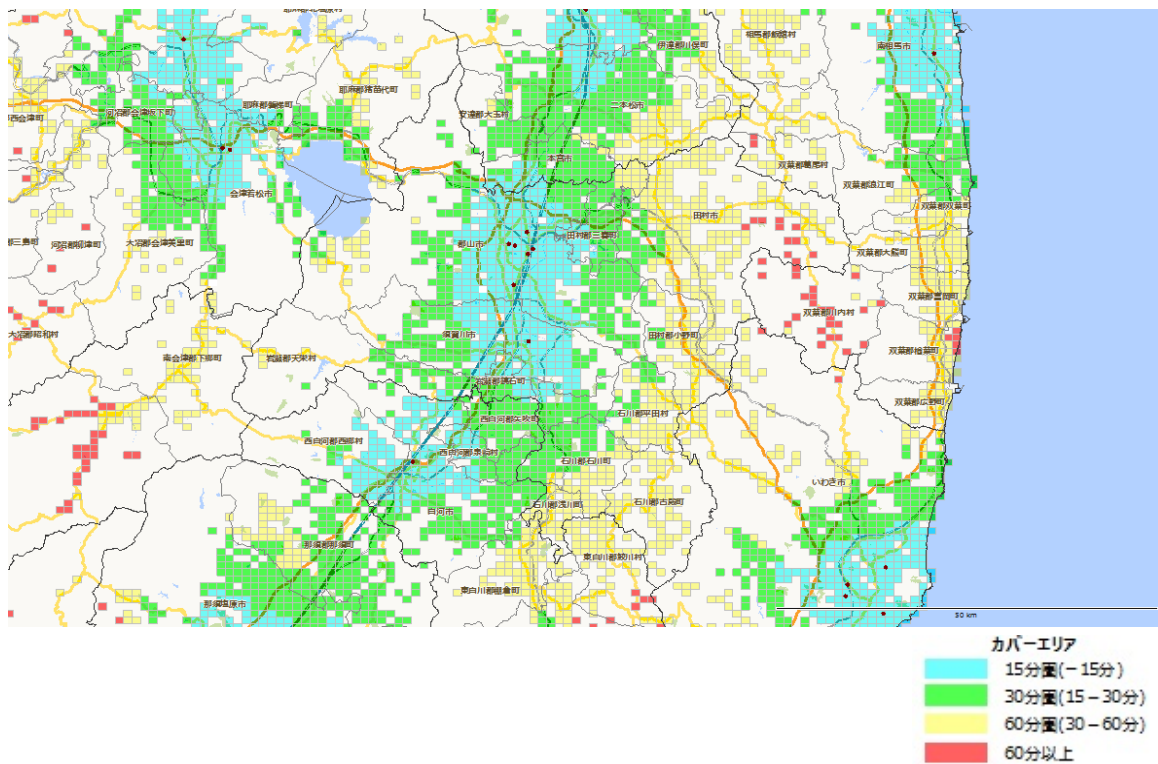
## (県中医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表7-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表7-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

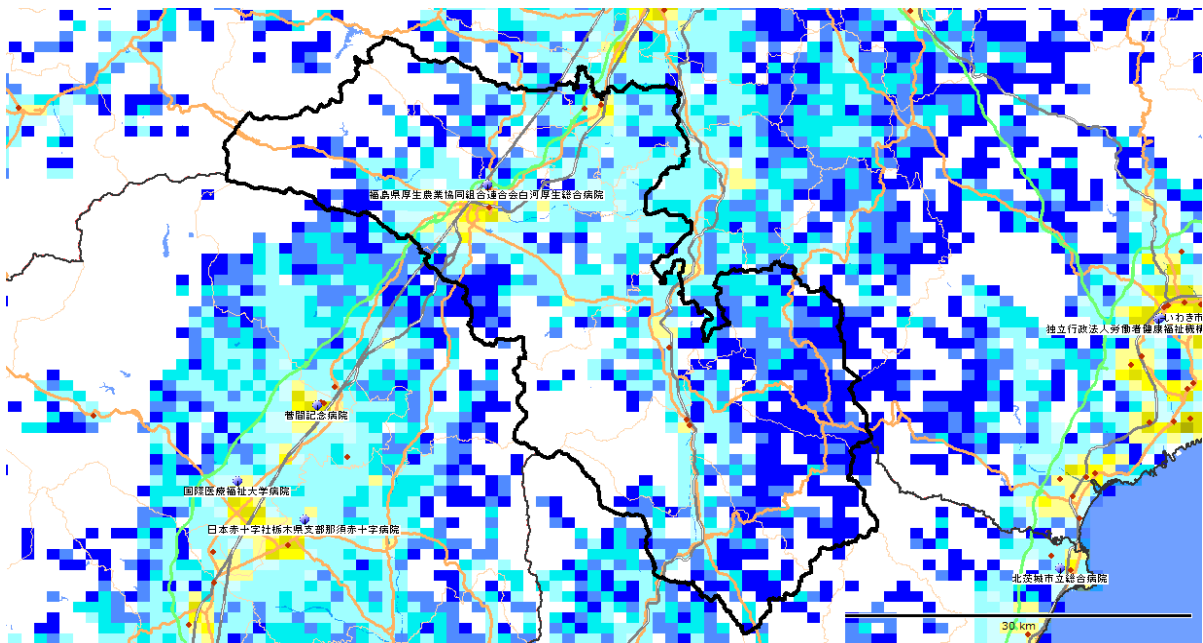


# 7-3. けんなん 県南医療圏

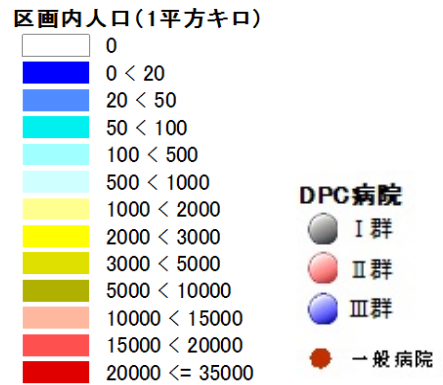
構成市区町村 [白河市](#) [西郷村](#) [泉崎村](#) [中島村](#)  
[矢吹町](#) [棚倉町](#) [矢祭町](#) [埴町](#)  
[鮫川村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (県南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県南(白河市)は、総人口約144千人(2015年)、面積1,233km<sup>2</sup>、人口密度は117人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*医療費と介護給付費： 県南の一人当たり医療費(国保)は321千円(偏差値44)、介護給付費は247千円(偏差値49)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県南の一人当たり急性期医療密度指数は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数は0.46で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数39、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。県南には、年間全身麻酔件数が500例以上の白河厚生総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,100人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,652床(偏差値64)、高齢者住宅等が448床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,801人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設70、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム38、軽費ホーム50、グループホーム47、サ高住40である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。

また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、199人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## (県南医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

県南医療圏の総人口は、2005年153,347人が、2015年に144,080人と6%減少し、2025年の人口が人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

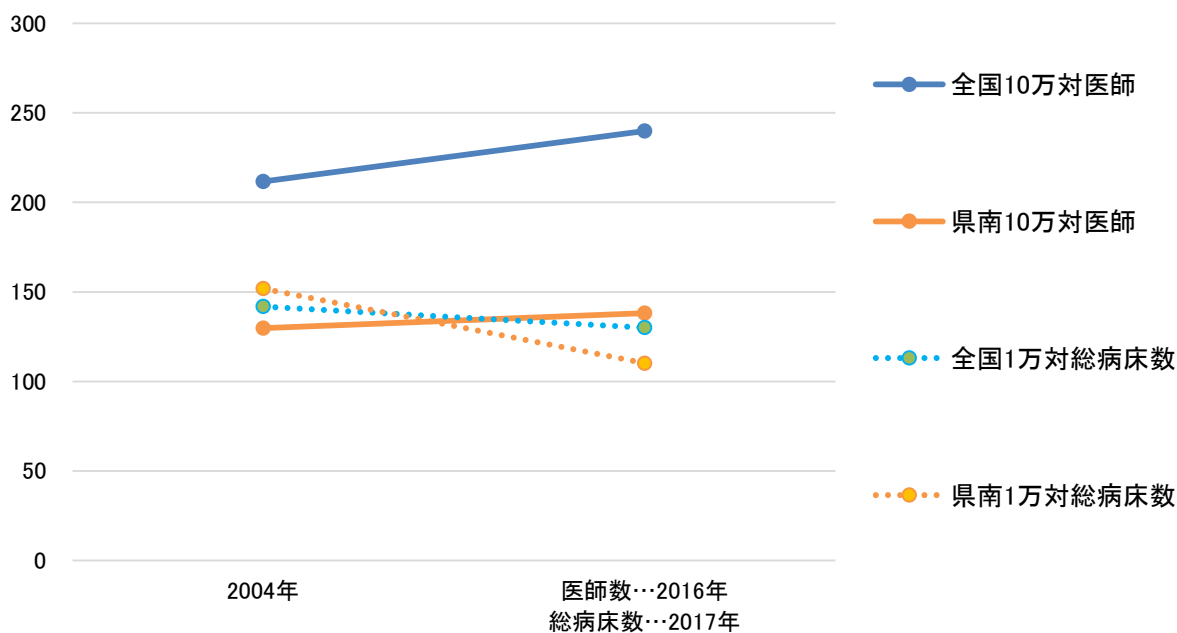
2004年の病院数が13(人口10万人当たり8.5病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2017年に8(人口10万人当たり5.6病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、13年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が89(人口10万人当たり58診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2017年に90(人口10万人当たり62診療所(全国平均80)偏差値41)と、1診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,329床(人口1万人当たり152(全国平均142)偏差値52)であったが、2017年に1,588床(人口1万人当たり110(全国平均130)偏差値46)と、741床の減少、率にして32%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が199人(人口10万人当たり130人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2016年に199人(人口10万人当たり138人(全国平均240人)偏差値39)と、増減がなかった(全国平均15%の増加)。

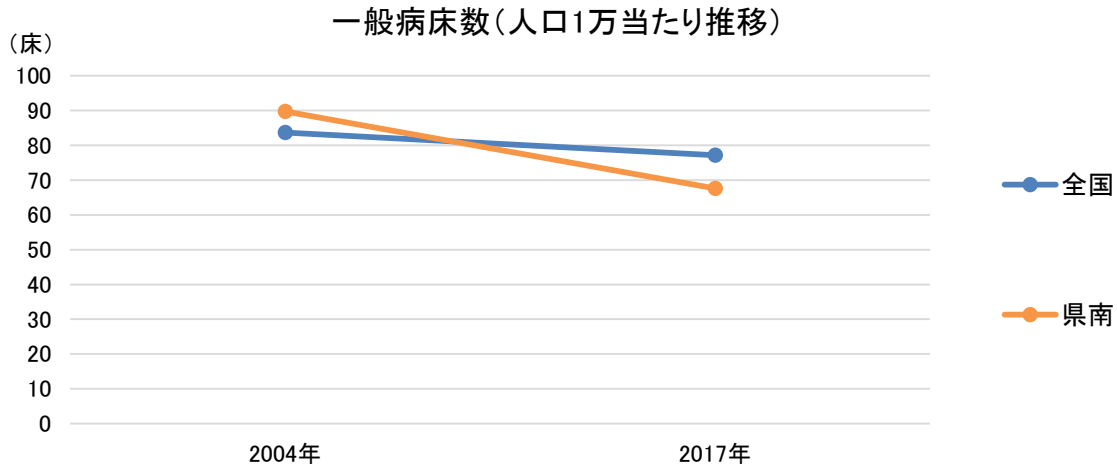
人口当たり医師数・総病床数の推移





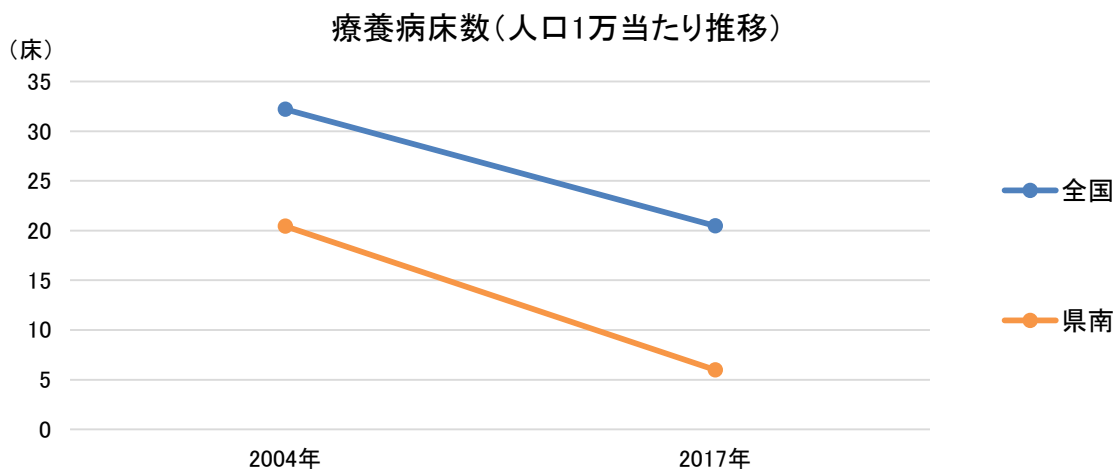
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,376床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2017年に974床(人口1万人当たり68(全国平均77)偏差値46)と、402床の減少、率にして29%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



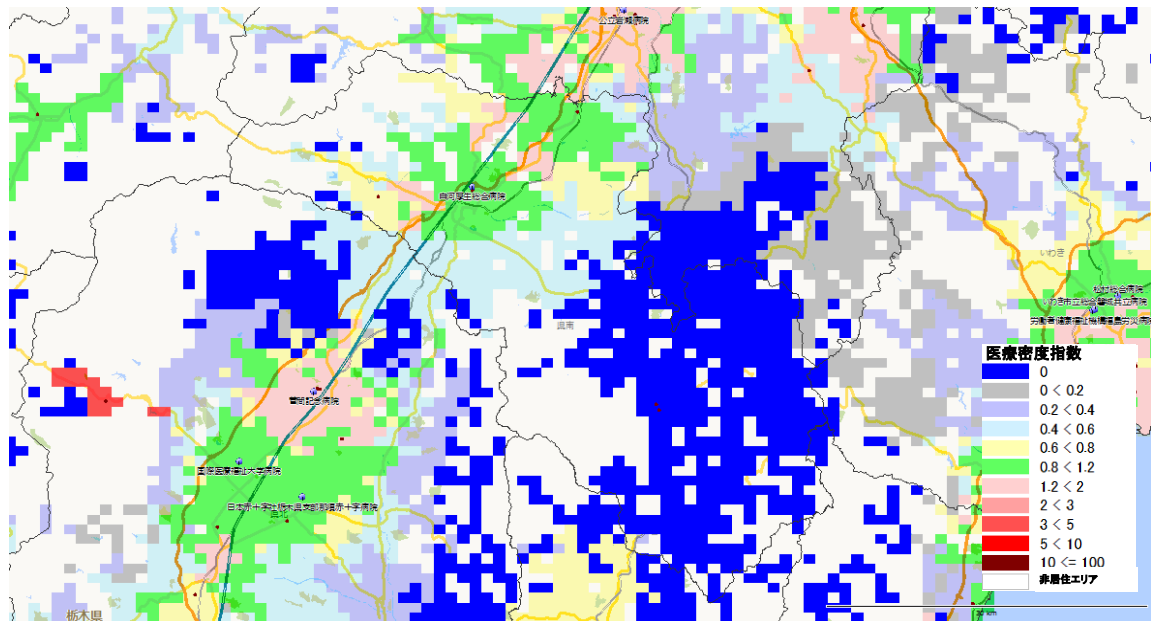
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が344床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に125床(75歳以上1,000人当たり6(全国平均20)偏差値37)と、219床の減少、率にして64%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



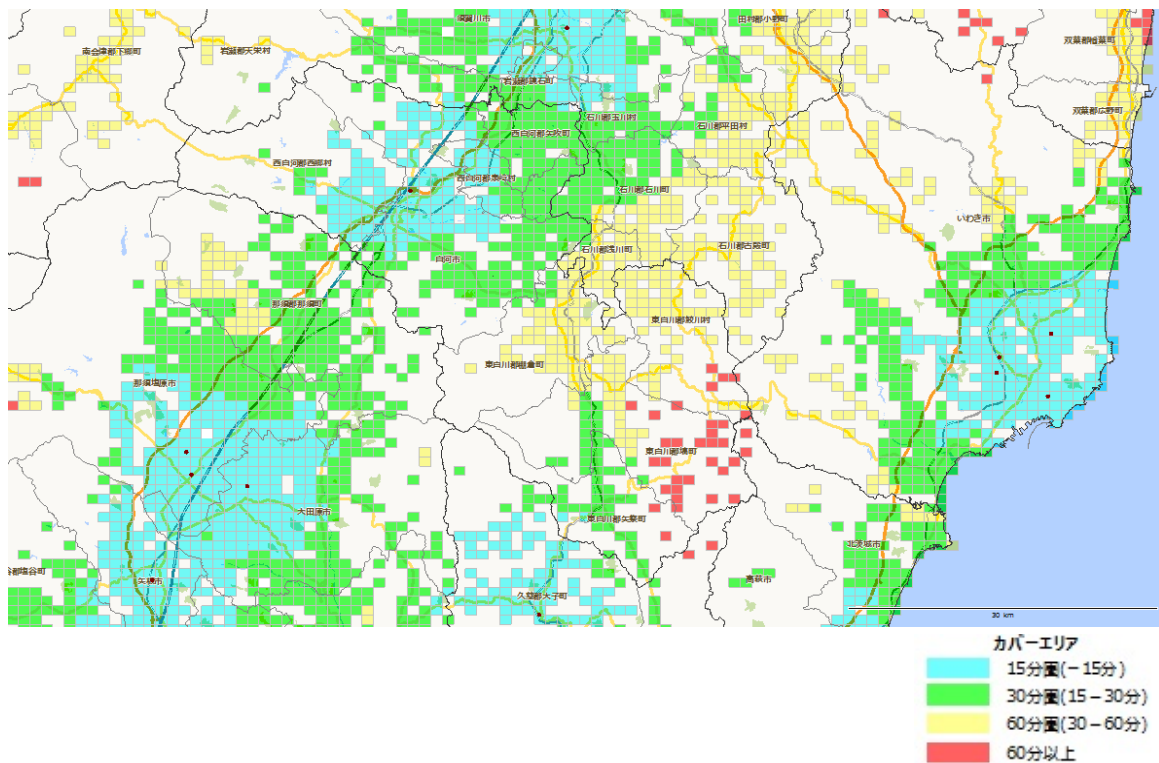
(県南医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表7-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表7-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

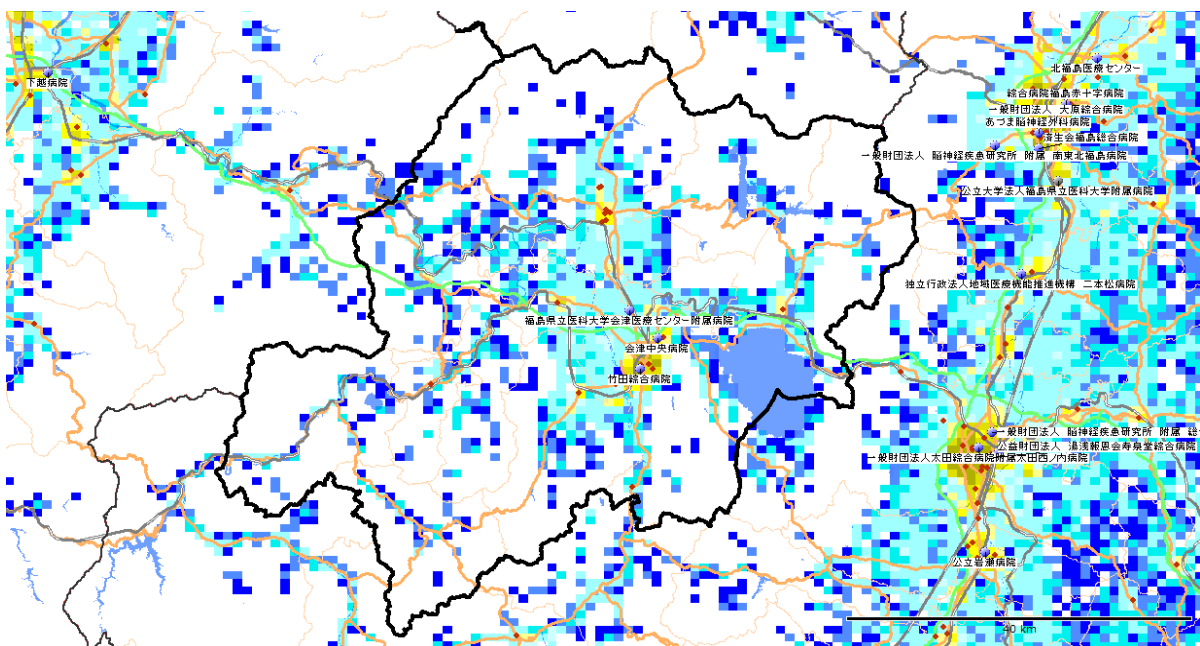


# 7-4. あ い づ 会津医療圏

構成市区町村	<a href="#">会津若松市</a>	<a href="#">喜多方市</a>	<a href="#">北塩原村</a>	<a href="#">西会津町</a>
	<a href="#">磐梯町</a>	<a href="#">猪苗代町</a>	<a href="#">会津坂下町</a>	<a href="#">湯川村</a>
	<a href="#">柳津町</a>	<a href="#">三島町</a>	<a href="#">金山町</a>	<a href="#">昭和村</a>
	<a href="#">会津美里町</a>			

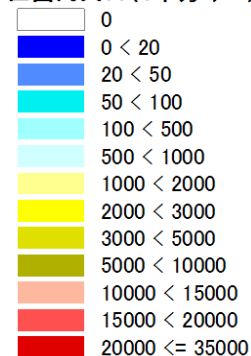
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market  
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

### 区画内人口(1平方キロ)



### DPG病院



## (会津医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 会津(会津若松市)は、総人口約251千人(2015年)、面積3,079km<sup>2</sup>、人口密度は81人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*医療費と介護給付費： 会津の一人当たり医療費(国保)は341千円(偏差値49)、介護給付費は278千円(偏差値57)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 会津の一人当たり急性期医療密度指数は1.68、一人当たり慢性期医療密度指数は1.33で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数46、診療所医師数38)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は58と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。会津には、年間全身麻酔件数が1000例以上の会津中央病院(Ⅲ群・救命)、竹田総合病院(Ⅲ群)、500例以上の会津医療センター附属病院(Ⅱ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 会津の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,129人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,106床(偏差値55)、高齢者住宅等が1,023床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,678人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住37である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値34と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、414人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (会津医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

会津医療圏の総人口は、2005年278,018人が、2015年に250,605人と10%減少し、2025年の人口が人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

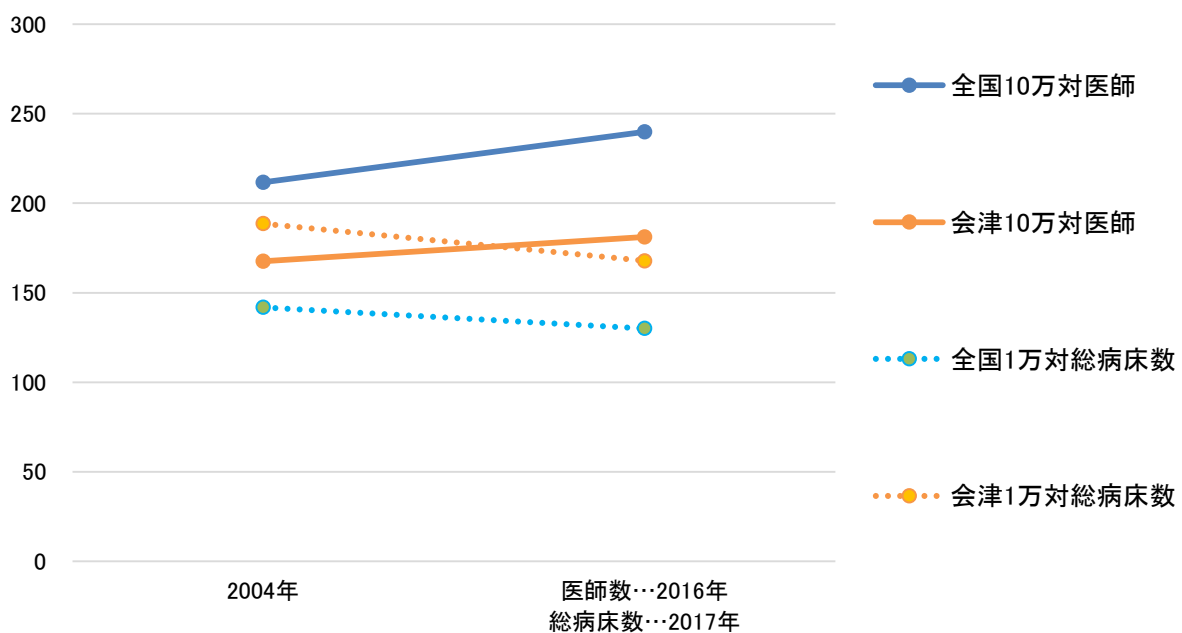
2004年の病院数が20(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2017年に18(人口10万人当たり7.2病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が177(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2017年に164(人口10万人当たり65診療所(全国平均80)偏差値42)と、13診療所が減少した。

2004年の総病床数が5,244床(人口1万人当たり189(全国平均142)偏差値58)であったが、2017年に4,205床(人口1万人当たり168(全国平均130)偏差値57)と、1,039床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

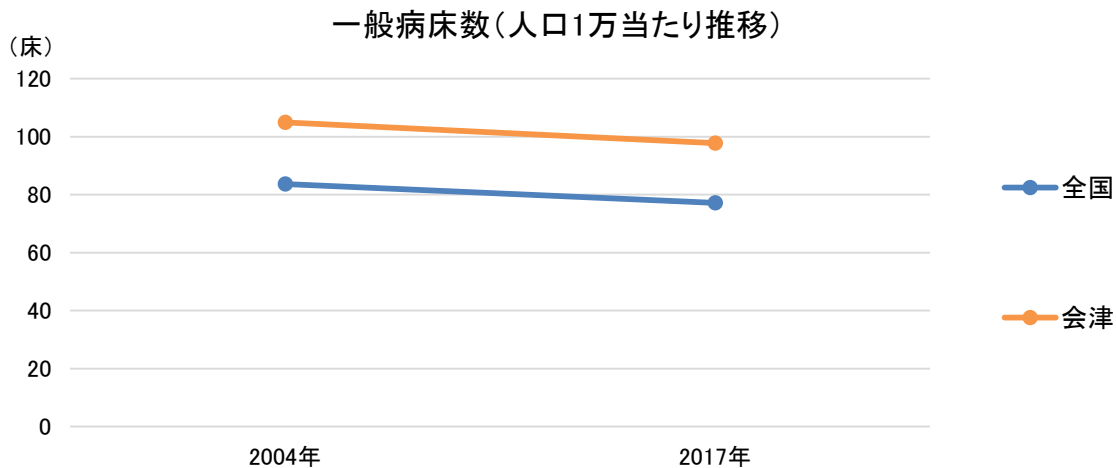
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が466人(人口10万人当たり168人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2016年に454人(人口10万人当たり181人(全国平均240人)偏差値43)と、12人の減少、率にして3%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



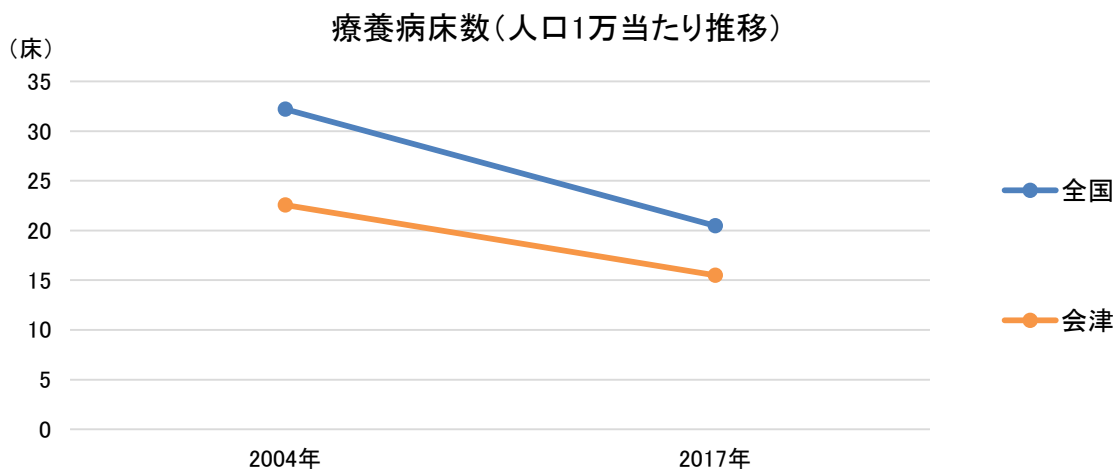
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,918床(人口1万人当たり105(全国平均84)偏差値58)であったが、2017年に2,450床(人口1万人当たり98(全国平均77)偏差値58)と、468床の減少、率にして16%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



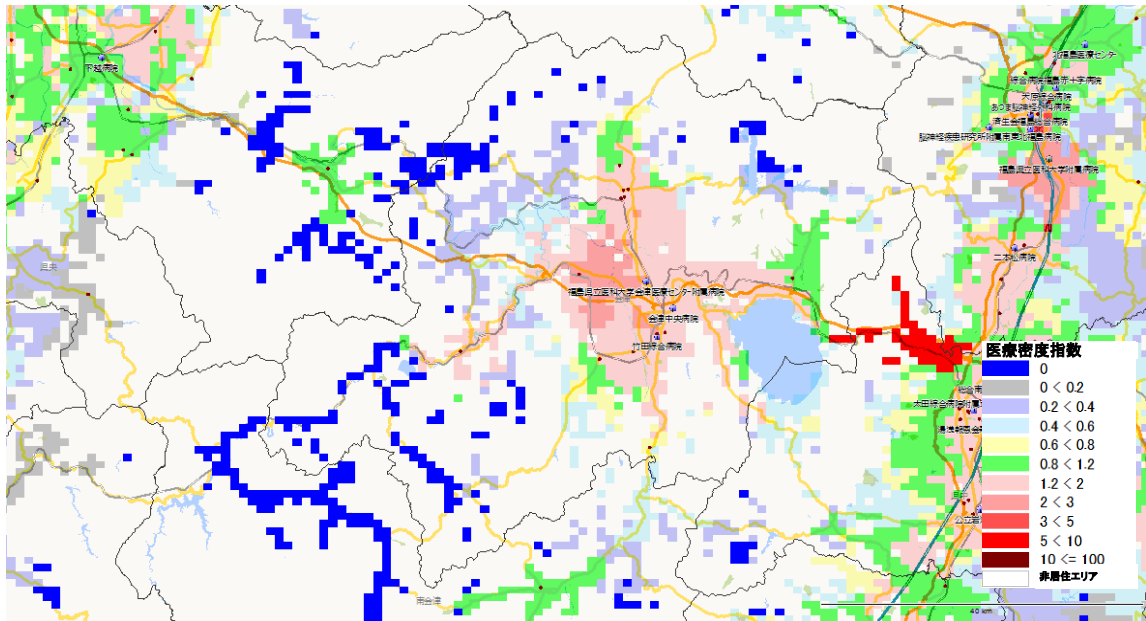
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が882床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2017年に708床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、174床の減少、率にして20%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



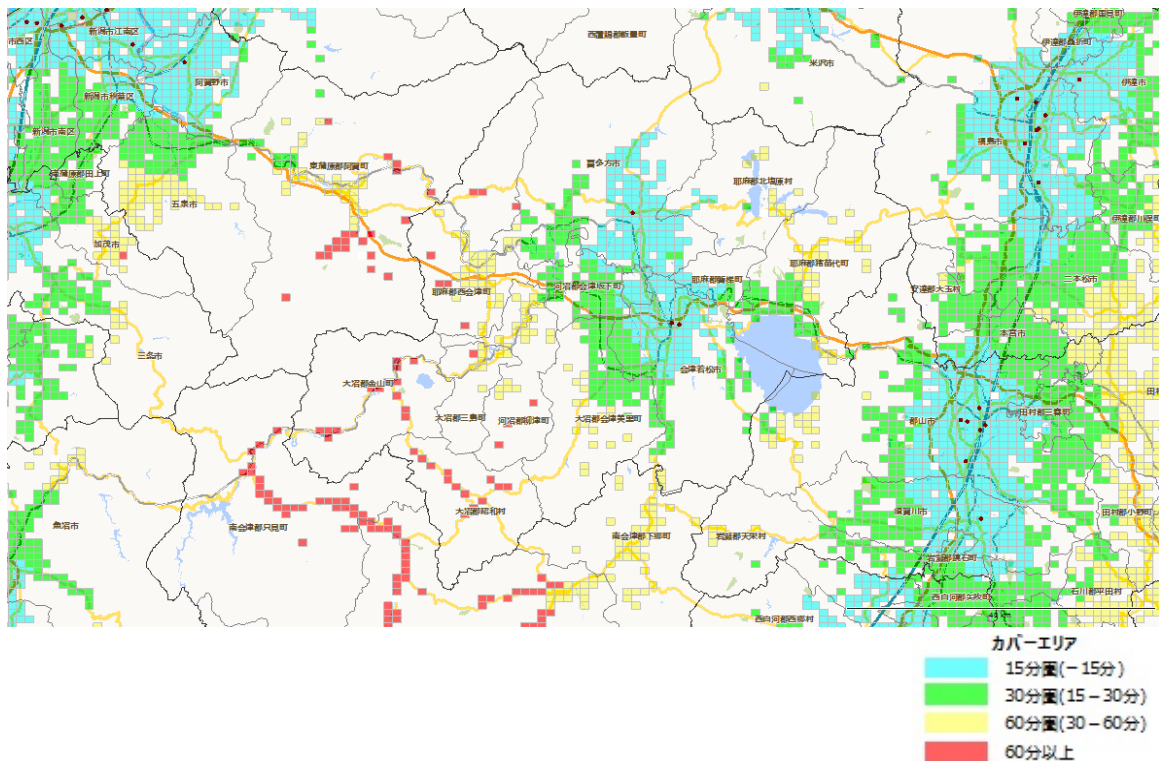
## (会津医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表7-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表7-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

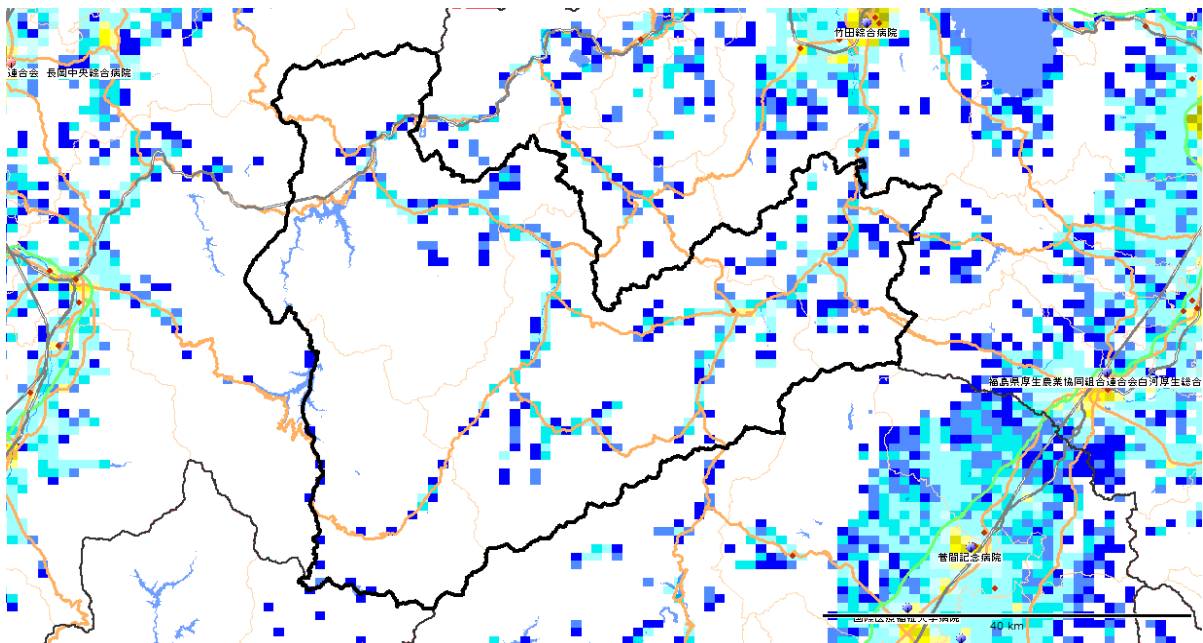


# 7-5. みなみあいづ 南会津医療圏

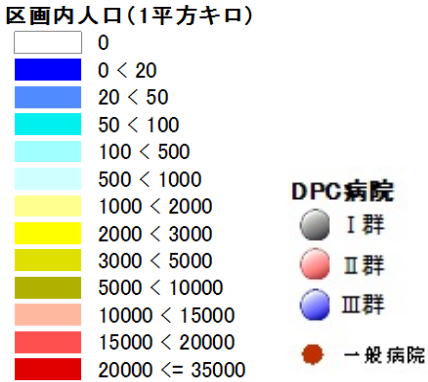
構成市区町村 [下郷町](#)      [檜枝岐村](#)      [只見町](#)      [南会津町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market  
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ





## (南会津医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 南会津(南会津郡下郷町)は、総人口約27千人(2015年)、面積2,342km<sup>2</sup>、人口密度は12人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*医療費と介護給付費： 南会津の一人当たり医療費(国保)は355千円(偏差値52)、介護給付費は272千円(偏差値56)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 南会津の一人当たり急性期医療密度指数は0.33、一人当たり慢性期医療密度指数は0.53で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が36(病院医師数35、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は37と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は35で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。南会津には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 療養病床は0である。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値33と非常に少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 南会津の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、582人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が510床(偏差値64)、高齢者住宅等が72床(偏差値30)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、454人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム73、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住なし(偏差値30)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。

また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、43人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (南会津医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

南会津医療圏の総人口は、2005年32,913人が、2015年に27,149人と18%減少し、2025年の人口が人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に8%減少し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

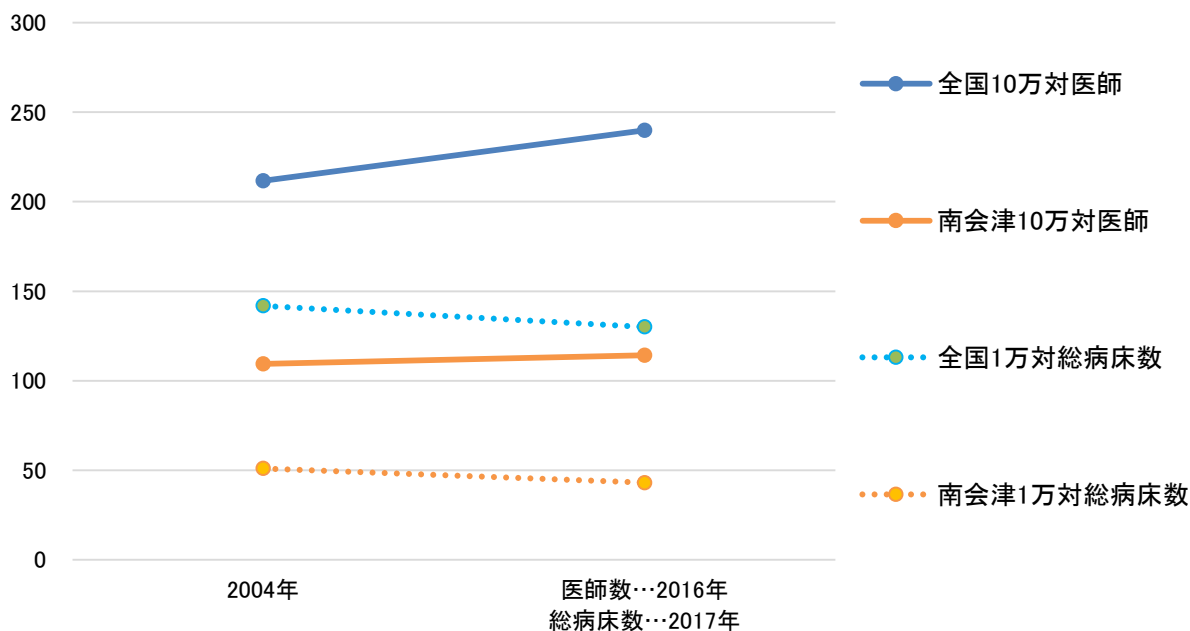
2004年の病院数が1(人口10万人当たり3病院(全国平均7.1)偏差値39)であったが、2017年に1(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が19(人口10万人当たり58診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2017年に22(人口10万人当たり81診療所(全国平均80)偏差値51)と、3診療所が増加した。

2004年の総病床数が168床(人口1万人当たり51(全国平均142)偏差値34)であったが、2017年に117床(人口1万人当たり43(全国平均130)偏差値34)と、51床の減少、率にして30%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

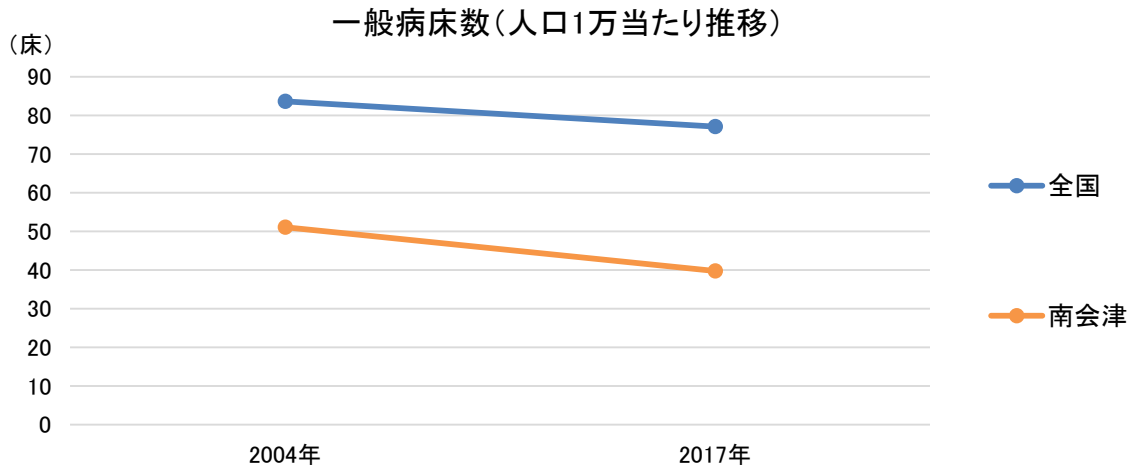
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が36人(人口10万人当たり109人(全国平均212人)偏差値38)であったが、2016年に31人(人口10万人当たり114人(全国平均240人)偏差値36)と、5人の減少、率にして14%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移

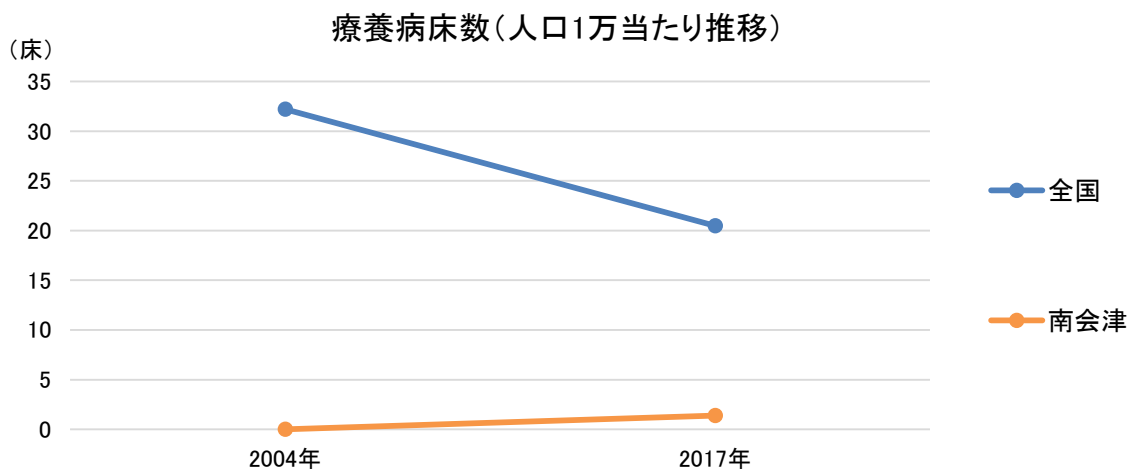


## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が168床(人口1万人当たり51(全国平均84)偏差値38)であったが、2017年に108床(人口1万人当たり40(全国平均77)偏差値36)と、60床の減少、率にして36%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。

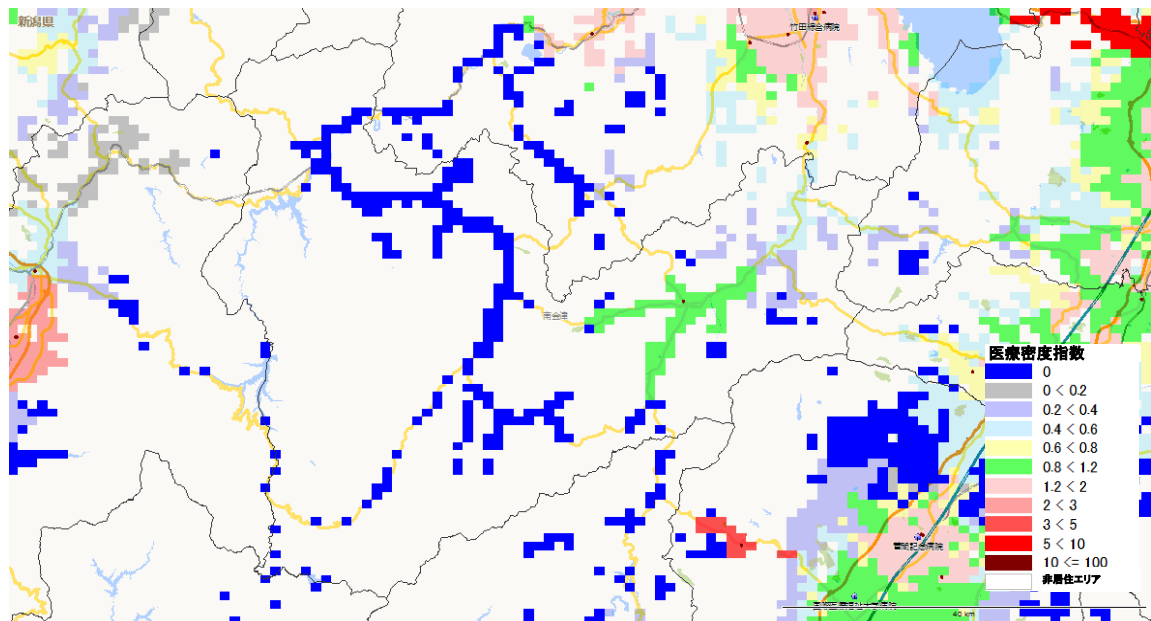


## 【療養病床( )推移】



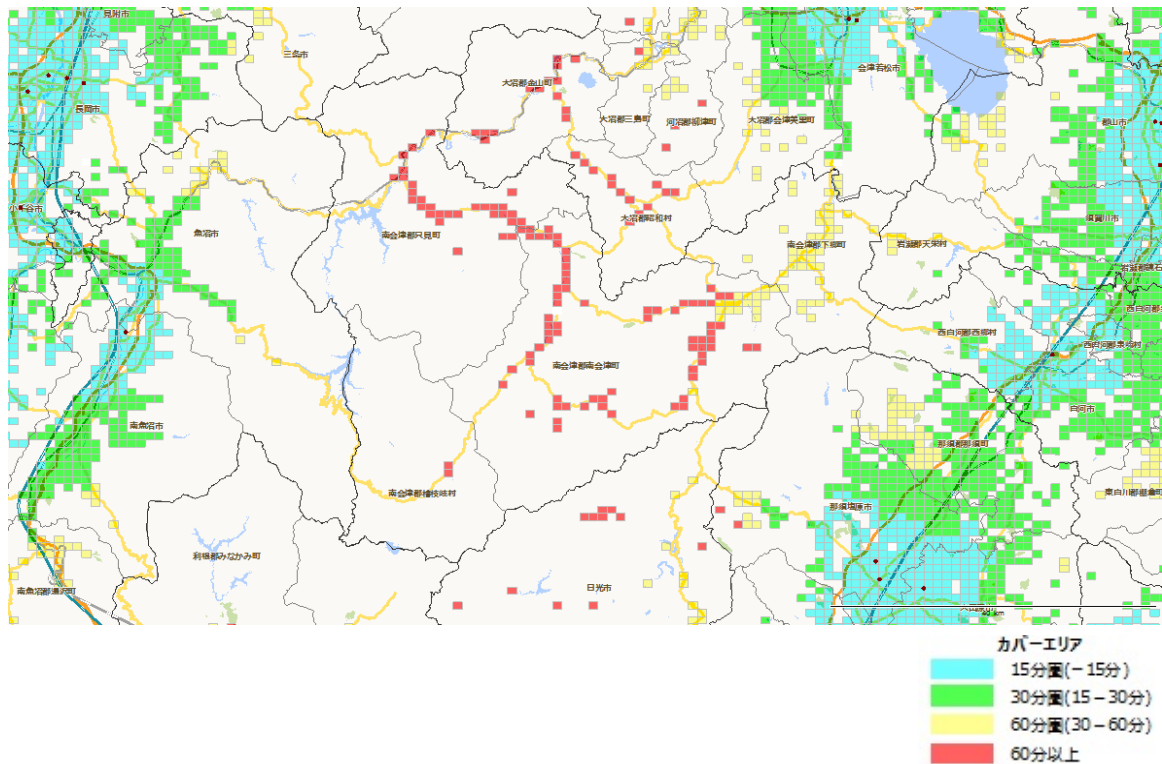
(南会津医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表7-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表7-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

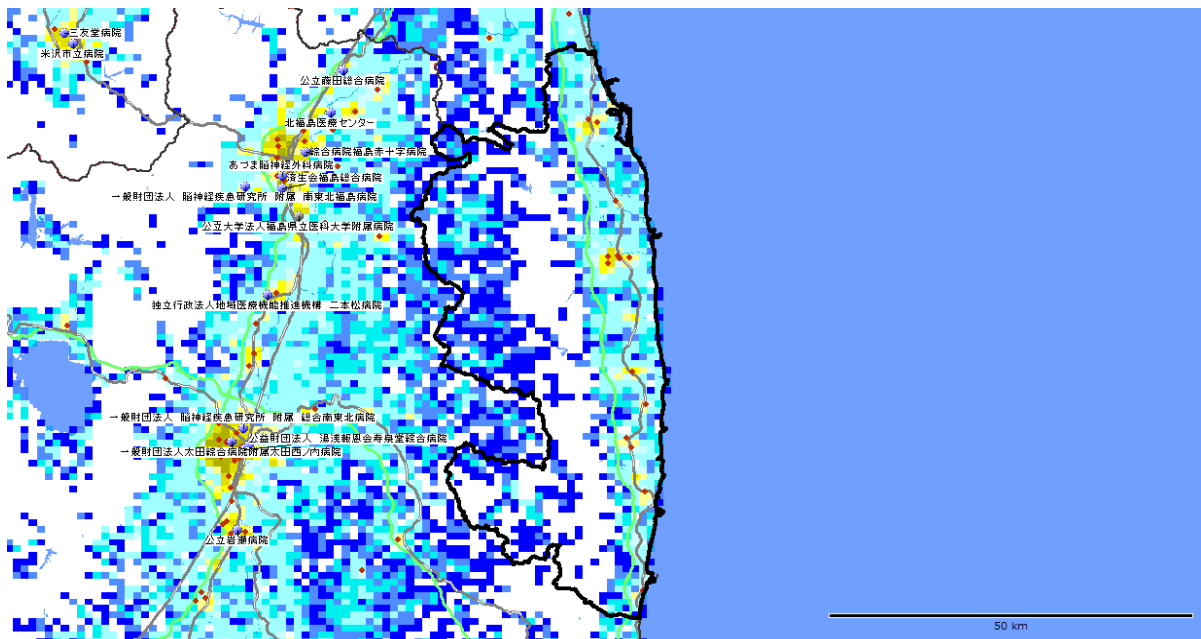


# 7-6. そうそう 相双医療圏

構成市区町村 [相馬市](#) [南相馬市](#) [広野町](#) [楡葉町](#)  
[富岡町](#) [川内村](#) [大熊町](#) [双葉町](#)  
[浪江町](#) [葛尾村](#) [新地町](#) [飯舘村](#)

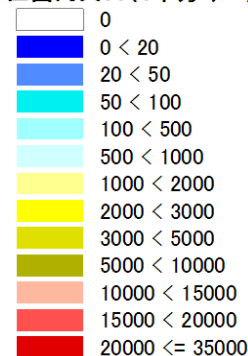
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

### 区画内人口(1平方キロ)



### DPC病院



## (相双医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 相双(相馬市)は、総人口約112千人(2015年)、面積1,739km<sup>2</sup>、人口密度は64人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*医療費と介護給付費： 相双の一人当たり医療費(国保)は376千円(偏差値57)、介護給付費は289千円(偏差値61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 相双の一人当たり急性期医療密度指数は0.7、一人当たり慢性期医療密度指数は0.89で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数40、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。相双には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値38と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 相双の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,326人(75歳以上1,000人当たりの偏差値33)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,150床(偏差値53)、高齢者住宅等が176床(偏差値29)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,212人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設42、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住31である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、164人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-104%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (相双医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

相双医療圏の総人口は、2005年200,931人が、2015年に111,945人と44%減少し、2025年の人口が人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に38%減少し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

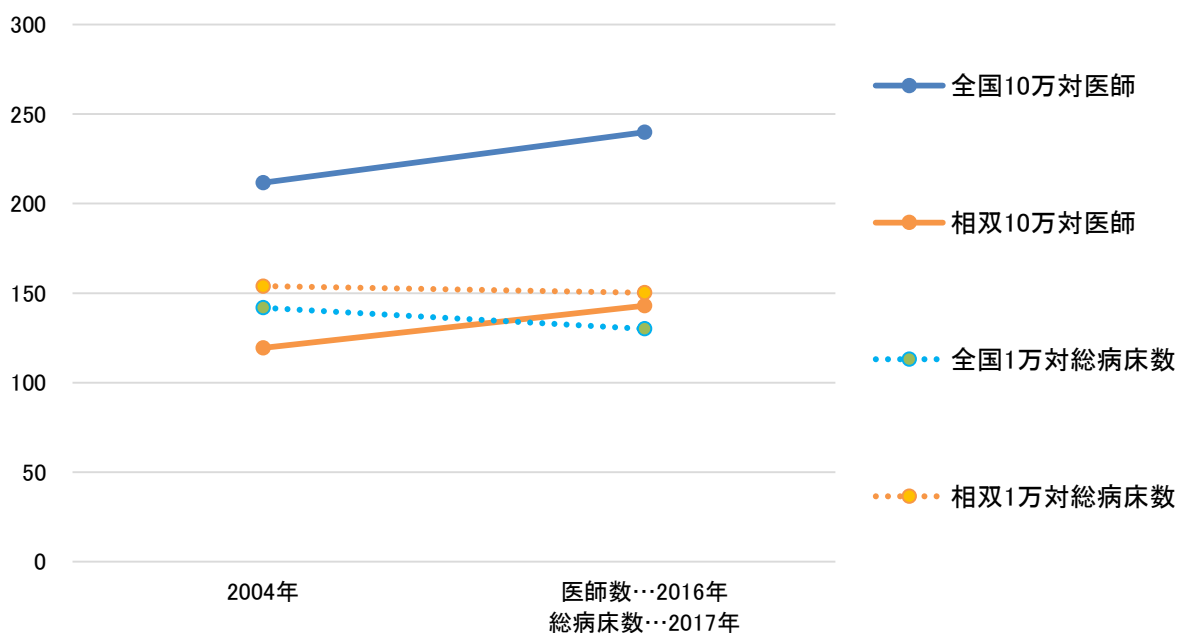
2004年の病院数が16(人口10万人当たり8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2017年に10(人口10万人当たり8.9病院(全国平均6.6)偏差値55)となり、13年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が115(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2017年に83(人口10万人当たり74診療所(全国平均80)偏差値47)と、32診療所が減少した。

2004年の総病床数が3,092床(人口1万人当たり154(全国平均142)偏差値52)であったが、2017年に1,682床(人口1万人当たり150(全国平均130)偏差値54)と、1,410床の減少、率にして46%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が240人(人口10万人当たり119人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2016年に160人(人口10万人当たり143人(全国平均240人)偏差値39)と、80人の減少、率にして33%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

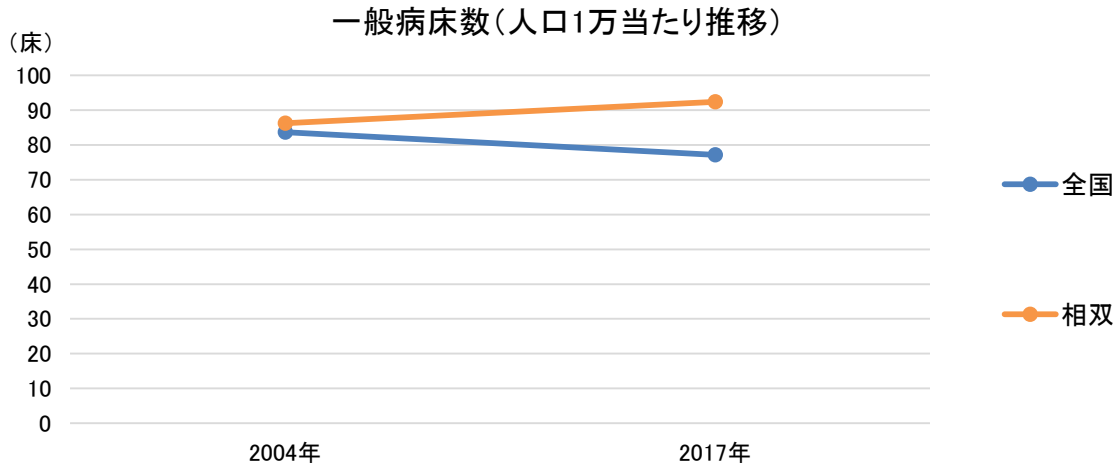
人口当たり医師数・総病床数の推移



## 7.福島県(2018年版)

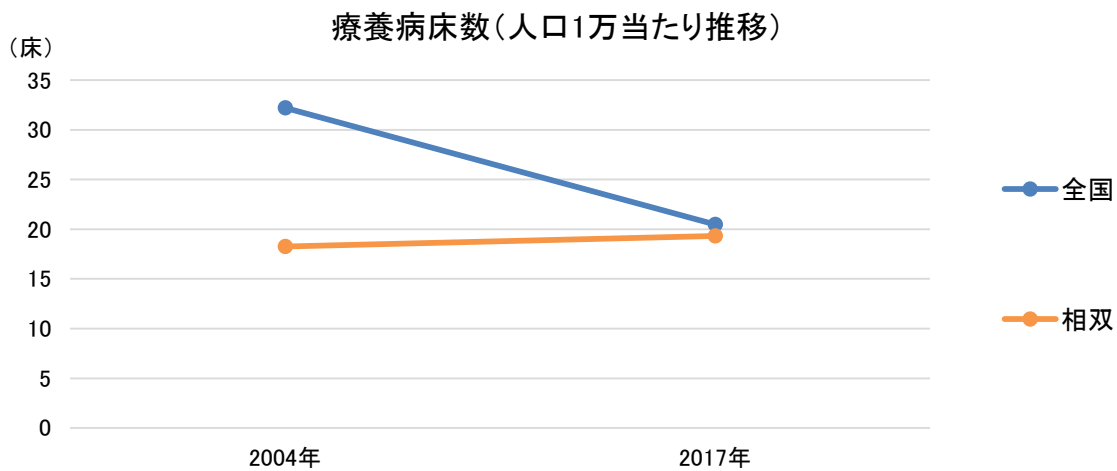
### 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,733床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2017年に1,034床(人口1万人当たり92(全国平均77)偏差値56)と、699床の減少、率にして40%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



### 【療養病床の推移】

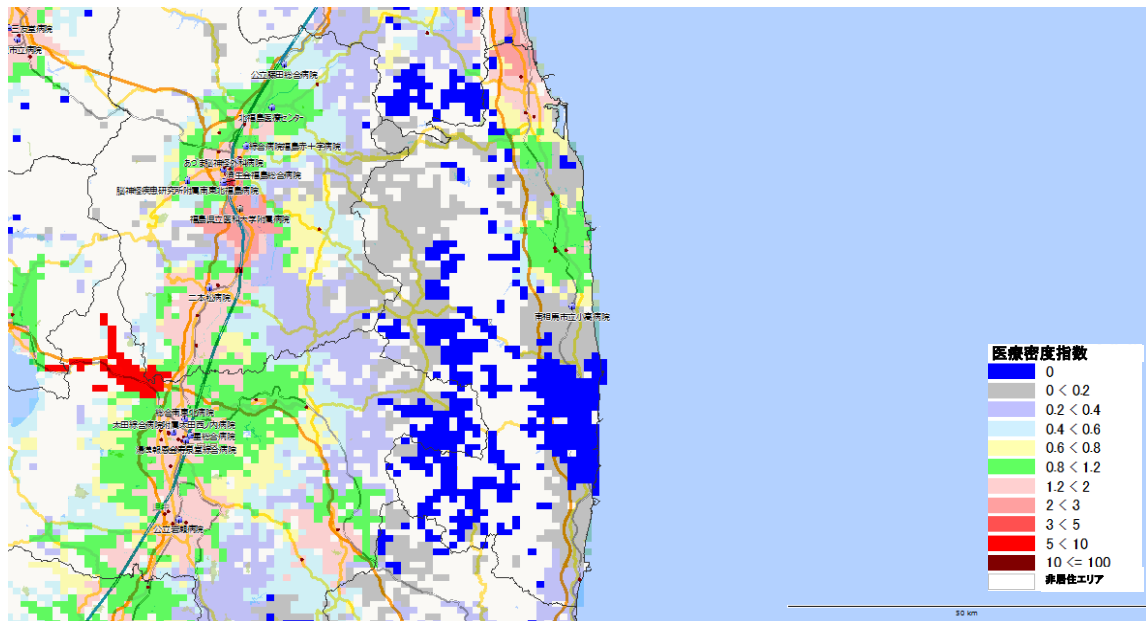
2004年の療養病床(病院+診療所)が444床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均32)偏差値42)であったが、2017年に341床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均20)偏差値49)と、103床の減少、率にして23%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。





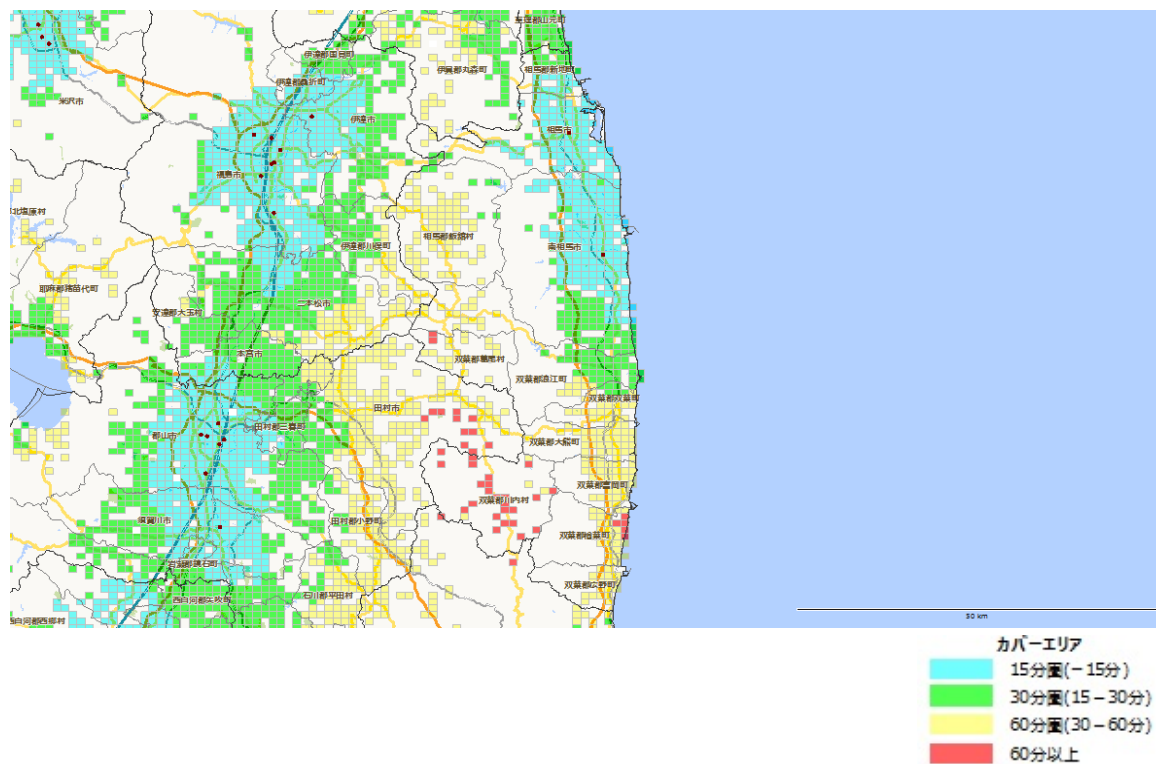
## (相双医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表7-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表7-6-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

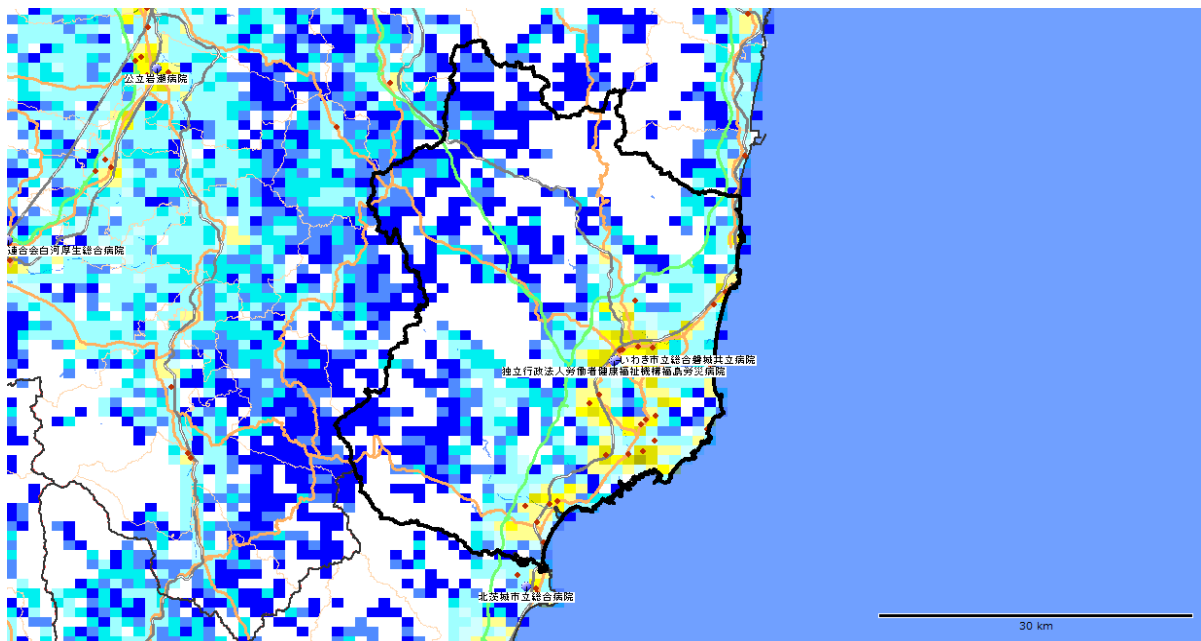


# 7-7. いわき医療圏

構成市区町村 [いわき市](#)

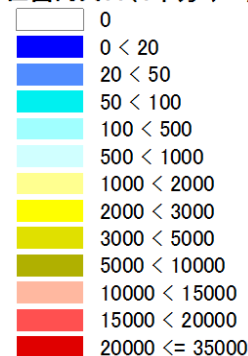
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (いわき医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： いわき(いわき市)は、総人口約350千人(2015年)、面積1,232km<sup>2</sup>、人口密度は284人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*医療費と介護給付費： いわきの一人当たり医療費(国保)は355千円(偏差値52)、介護給付費は273千円(偏差値56)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： いわきの一人当たり急性期医療密度指数は1.09、一人当たり慢性期医療密度指数は1.48で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数40、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。いわきには、年間全身麻酔件数が2000例以上のいわき市医療センター(Ⅲ群・救命)、500例以上の福島労災病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： いわきの総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,637人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,729床(偏差値44)、高齢者住宅等が1,908床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,775人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム52、軽費ホーム51、グループホーム49、サ高住42である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、883人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## (いわき医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

いわき医療圏の総人口は、2005年354,492人が、2015年に350,237人と1%減少し、2025年の人口が人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

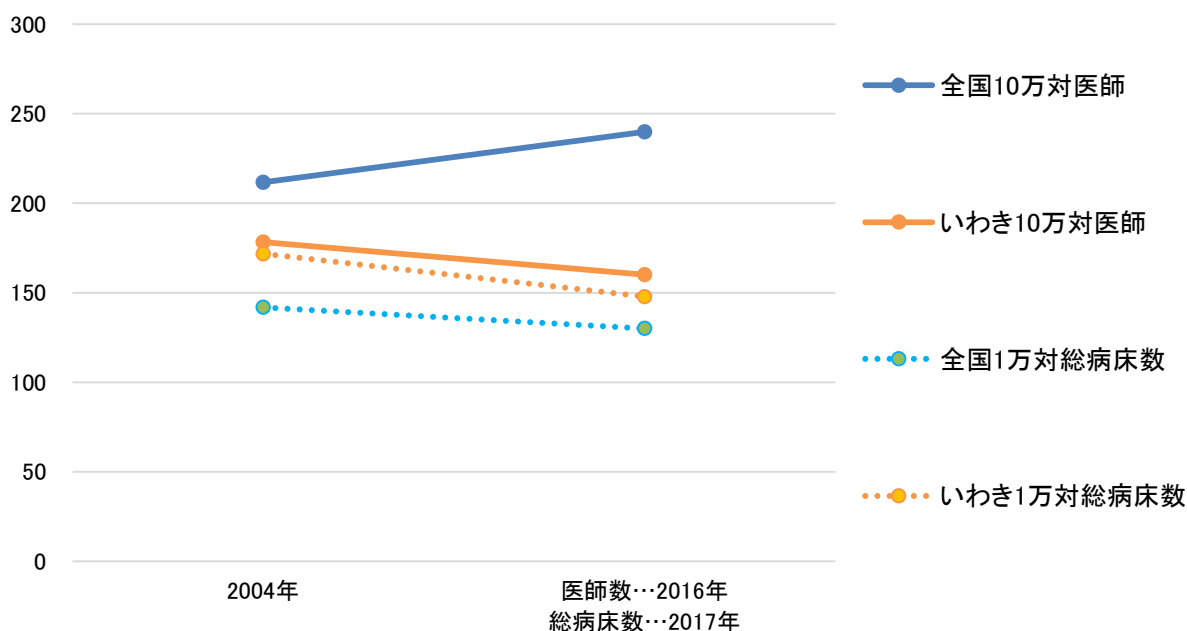
2004年の病院数が29(人口10万人当たり8.2病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2017年に27(人口10万人当たり7.7病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が266(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2017年に254(人口10万人当たり73診療所(全国平均80)偏差値46)と、12診療所が減少した。

2004年の総病床数が6,089床(人口1万人当たり172(全国平均142)偏差値55)であったが、2017年に5,179床(人口1万人当たり148(全国平均130)偏差値53)と、910床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

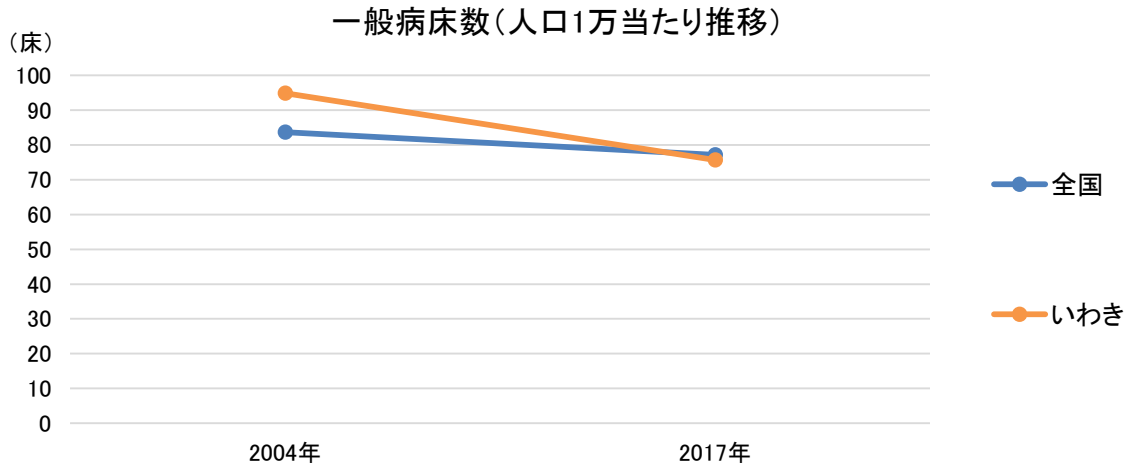
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が632人(人口10万人当たり178人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2016年に561人(人口10万人当たり160人(全国平均240人)偏差値41)と、71人の減少、率にして11%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



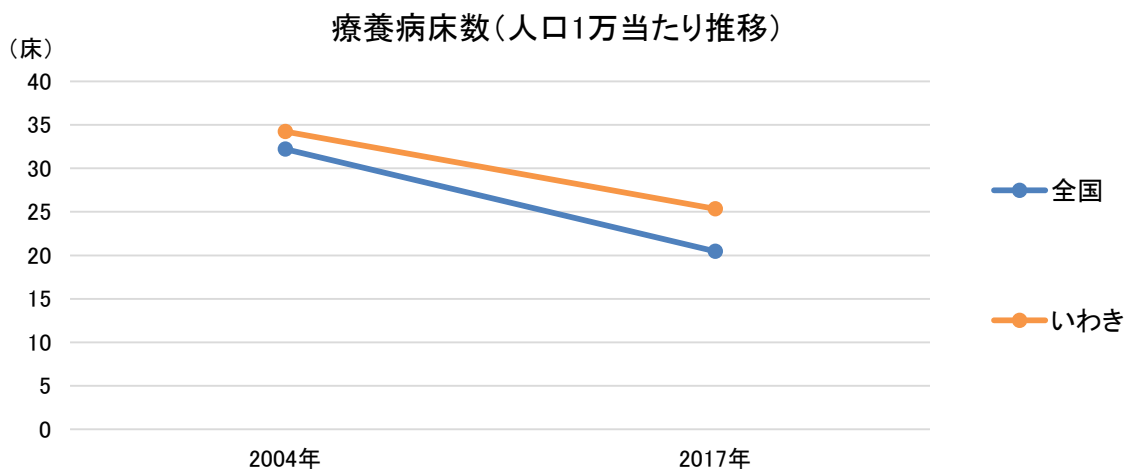
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,364床(人口1万人当たり95(全国平均84)偏差値54)であったが、2017年に2,650床(人口1万人当たり76(全国平均77)偏差値49)と、714床の減少、率にして21%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



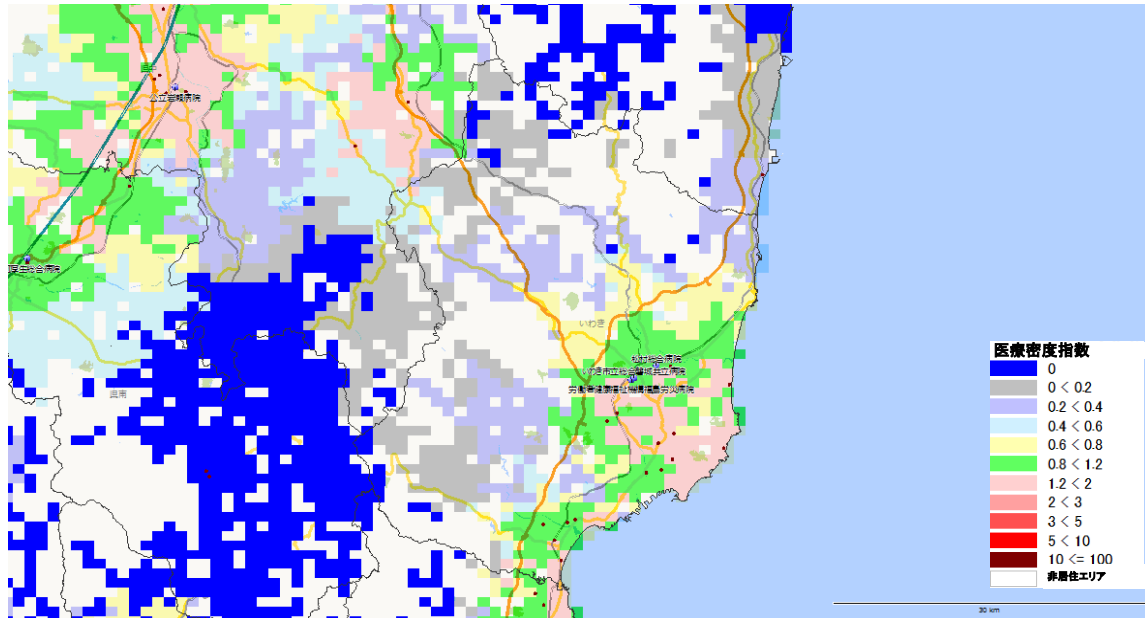
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,287床(75歳以上1,000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2017年に1,278床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均20)偏差値54)と、9床の減少、率にして1%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



(いわき医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表7-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表7-7-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

